ONKYO®

CD チューナー オーディオ システム

CBX-500

取扱説明書

Made for iPod iPhone

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

主な特長

- iPod/iPhone＊1 デジタル接続
- iPod touch 第 1・2・3・4 世代、iPod classic、iPod nano 第 2・3・4・5・6 世代、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G に対応
- iPod/iPhone 充電機能
- 多彩な iPod/iPhone とのシステム連動機能（7 ページ）
- iPod/iPhone の操作もできるリモコンを付属（21 ページ）
- クリアなサウンドを実現するオンキヨー独自の OMF＊2 振動板採用 8cm フルレンジスピーカーユニット
- クラスを超えた量感と躍動感あふれる低音再生を可能とする AERO ACOUSTIC DRIVE＊3
- 低音を増強して迫力のあるスーパーバス（S.Bass）を搭載
- 低音・高音を好みに合わせてコントロールするバス･トレブルコントロール
- CD-R、CD-RW 再生対応
- CD の MP3、WMA＊4 ファイル再生対応
- 最大 25 曲の CD プログラム再生機能
- FM/AM チューナー
- 最大 40 局の FM/AM プリセットメモリー機能
- 最大 4 プログラムのタイマー機能
- お目覚め時に便利なスヌーズ機能
- おやすみ前にも安心のスリープタイマー機能
- 時計の 24 時間表示、12 時間表示切り換え機能
- 表示部の明るさを調整できるディマー機能

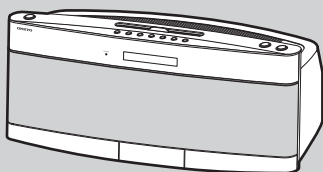
＊1　iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品と iPod、iPhone を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

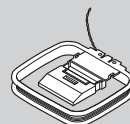
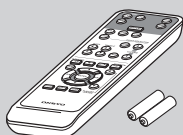
＊2、3　OMF、AERO ACOUSTIC DRIVE は、オンキヨー株式会社の登録商標です。

＊4　Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

箱の中身を確かめる

製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。( )内の数字は数量をあらわしています。

- 製品本体（1）

- FM 室内アンテナ（1）
  FM 放送を受信するアンテナです。

- AM 室内アンテナ（1）
  AM 放送を受信するアンテナです。

- リモコン― RC-775S（1）

- 電源コード（1）

- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）
- ユーザー登録カード（1）
- オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

ご注意　付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。他の機器に使用すると、火災･感電の原因となることがあります。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

・煙が出ている、変なにおいや音がする
・本機を落としてしまった
・本機内部に水や金属が入ってしまった
このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。
・本機を押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
（本機の天面、横から20cm以上、背面から20cm以上のスペースをあける）
・逆さまや横倒しにして使用しない
・布やテーブルクロスをかけない
・じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
・風呂場など湿度の高い場所では使用しない
・調理台や加湿器のそばには置かない
・雨や雪などがかかるところで使用しない
・本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

・電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
・傷つけたり、加工したりしない
・無理にねじったり、引っ張ったりしない
・熱器具などに近づけない、加熱しない
コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
・本機の通風孔、ディスク挿入口（CDスロット）から異物を入れない
・本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ディスク挿入口（CDスロット）に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・指定以外の電池は使用しない
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
・電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
・コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
・極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

⚠ 注意

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

iPod/iPhone について

接続できる iPod/iPhone

iPod touch 第 1･2･3･4 世代、iPod classic

iPod nano 第 2･3･4･5･6 世代

iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G

※ 必ず適合する Dock アダプタをご使用ください。

ご注意

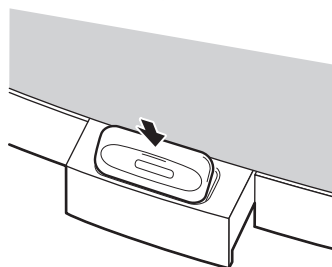
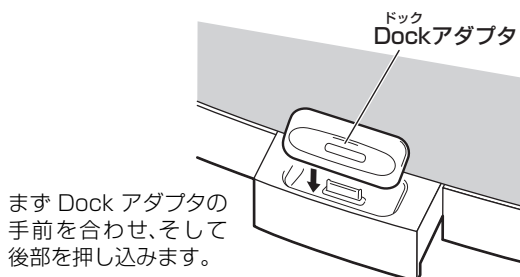
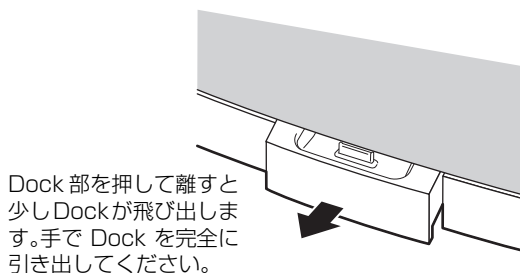
ご使用になる前に、必ずお使いの iPod/iPhone を最新バージョンにアップデートしてください。詳細は Apple 社ホームページを参照してください。

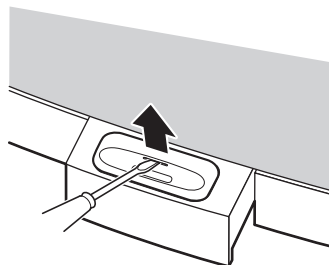
■ Dock アダプタについて

本機の Dock は、Universal Dock システムを採用しています。Dockアダプタという付け換え可能な部品を取り付けることで、対応する iPod/iPhone を接続することができます。

- iPod に付属の Dock アダプタをご使用ください。
- Dockアダプタが付属していないiPod/iPhoneの場合は、適合する市販の「Apple iPod/iPhone Universal Dock アダプタ」をお買い求めください。

Dock 部を押して離すと少しDockが飛び出します。手で Dock を完全に引き出してください。

まず Dock アダプタの手前を合わせ、そして後部を押し込みます。

■ Dock アダプタのはずしかた

下図のように Dock アダプタのスリットにマイナスドライバーなどを差し込んで上へ引き上げてください。

取り扱い上のご注意

- Dockアダプタを取り付けないで本機にiPod/iPhoneを接続すると、負担がかかってコネクタ部が劣化、破損するおそれがあります。また、Dock アダプタを取り付けても、接続したiPod/iPhoneを揺らすなどしてコネクタ部に負担をかけないでください。
- iPod/iPhone を抜き差しするときは、コネクタに負担をかけないようまっすぐにコネクタの傾きに合わせて、ていねいに行ってください。
- 本機と接続した状態で iPod/iPhone の操作部を強く押したり、iPod/iPhone を前後に倒したりしないようにしてください。コネクタ部の接触不良や破損の原因となります。
- FM トランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となります。
- iPod/iPhone をケースなどに入れている場合、完全にコネクタと接続できず、音が出ない、リモコンで操作できないなどの問題が起きることがあります。iPod/iPhoneは、ケースをはずしてから本機に接続してください。

iPod/iPhone との連動動作

次の連動動作ができますが、iPod/iPhone の機種や再生するコンテンツによっては一部の機能が動作しないことがあります。

電源オン / オフ（スタンバイ）動作

本機の電源をオン / スタンバイにすると、iPod/iPhone の電源も連動します。

タイマー動作

本機のタイマーによって、iPod/iPhone をタイマー再生します。

オートパワーオン動作

本機がスタンバイ状態のときに iPod ►/❚❚ ボタンを押すと、自動的に電源がオンになり、iPod/iPhone の再生が始まります。

ダイレクトチェンジ動作

iPod ►/❚❚ ボタンを押すと、入力が自動的に iPod に切り換わり、iPod/iPhone の再生が始まります。

CD（音楽 CD、MP3、WMA）について

再生上のご注意
CD（コンパクトディスク）はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。

※ 本機は CD-R、CD-RW に対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用 CD レコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは絶対に使用しないでください。ディスクがつまるなど機器の故障の原因となります。

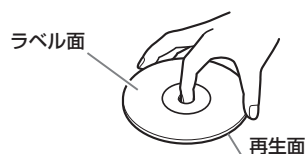
複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の再生について
複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の中には正式な CD 規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3、WMA ディスクの再生について
本機は CD-R/CD-RW に記録した MP3、WMA ファイルを再生することができます。
- ISO9660 レベル２のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。ただし、対応している階層は ISO9660 レベル 1 と同じ 8 階層までです。また、HFS（hierarchical file system）ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- フォルダ（ルートを含む）は最大99まで、またフォルダ（ルートを含む）とファイルの合計が 499 まで認識、再生することができます。
- ディスクはクローズしてください。

ご注意
- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

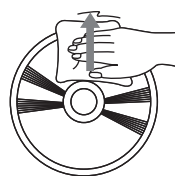
MP3 ディスクの再生について
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3（32-320kbps）のサンプリング周波数 32/44.1/48kHz で記録されたファイルに対応しています。
- 32kbps から 320kbps の可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WMA ディスクの再生について
- WMA は「Windows Media® Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 64kbps から 160kbps（32/44.1/48kHz）の可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護された WMA ファイルは再生できません。
- WMA Pro、Lossless および Voice には対応していません。

取り扱いについて
再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

レンタル CD の注意について
CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応 CD-R/CD-RW の注意について
プリンターでラベル面への印刷が可能な CD-R/CD-RW を本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となるおそれがあります。
必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。

CD のお手入れについて
汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

本機の表面はときどき柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合は本機をテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると、本機との相互作用によりテレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

内蔵スピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FM チューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。

メモリー保持について

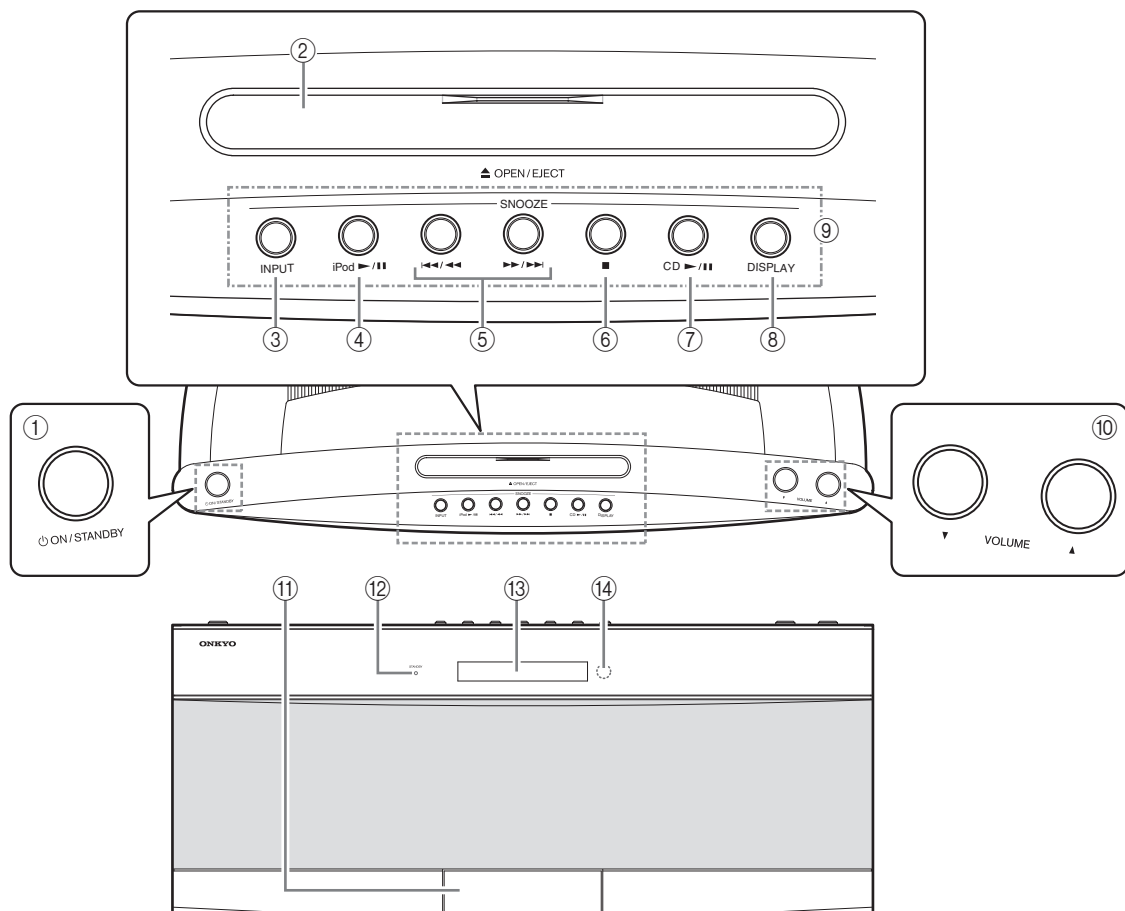
本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約 1 週間です。
ただし、時計は止まりすべてのタイマー設定は「OFF」になりますので、あらためて必要な設定を行ってください。

設置場所について

本機は直射日光の当たる場所や蛍光灯、殺菌灯などの下で使用した場合、紫外線等の影響を受けて変色することがあります。

各部の名前と主な働き

上面パネル / 前面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

① ON/STANDBY ボタン〔18、42、44〕
電源のオン / スタンバイを切り換えます。

② CD スロット / ドア〔24〕

③ INPUT ボタン〔18〕
聞くソースを選びます。

④ iPod ► / II ボタン〔20〕
iPod/iPhone の再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。また、他のソースを聞いているときに押すと入力が iPod に切り換わり、iPod/iPhone の再生を始めます。

⑤ I◄◄/◄◄、►►/►►I ボタン〔20、24、34〕
CD や iPod/iPhone を聞いているときは、押すたびに 1 つ前の曲または次の曲を選びます。再生中に押し続けると、再生中の曲を早戻しまたは早送りします。ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。

⑥ ■ ボタン〔24〕
再生を停止します。

⑦ CD ► / II ボタン〔24〕
CD の再生を始めます。
再生中に押すと一時停止状態になります。

⑧ DISPLAY ボタン〔22、27、34〕
表示部の情報を切り換えます。

⑨ SNOOZE ボタン〔42〕
スヌーズオンに設定したタイマー再生時、③④⑤⑥⑦⑧ のボタンがスヌーズボタンとして働きます。

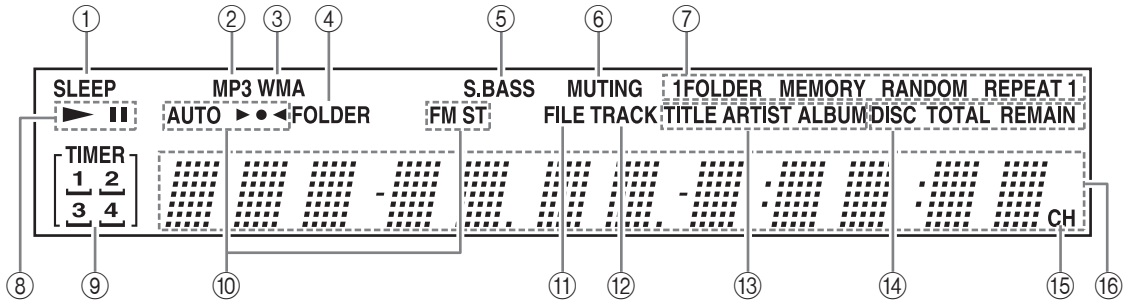
⑩ VOLUME ▲/▼ ボタン〔18〕
音量を調節します。

⑪ iPod/iPhone 用 Dock〔7、20〕
iPod/iPhone をセットします。
押して離すと Dock が少し飛び出します。手で Dock を完全に引き出してください。
本機を移動するときは、Dock を閉じてください。

⑫ STANDBY インジケーター〔18〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

⑬ 表示部
次ページをご覧ください。

⑭ リモコン受光部〔14〕
リモコンからの信号を受信します。

表示部

① SLEEP（スリープ）表示
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

② MP3 表示
MP3 ファイルを再生中に点灯します。

③ WMA 表示
WMA ファイルを再生中に点灯します。

④ FOLDER（フォルダ）表示
フォルダ番号やフォルダ名が表示されているときに点灯します。

⑤ S.BASS（スーパーバス）表示
スーパーバスを設定しているときに点灯します。

⑥ MUTING（ミューティング）表示
ミューティングが働いているときに点滅します。

⑦ 再生モード表示
1 FOLDER ：1 フォルダ再生時に点灯します。
MEMORY ：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RANDOM ：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT ：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1 ：1 曲リピート再生時に点灯します。

⑧ ►／II（プレイ／ポーズ）表示
CD や iPod/iPhone の再生状態を表示します。なお、iPod/iPhone のときは、II は点灯しません。

⑨ TIMER（タイマー）表示
タイマーのセット状態を表示します。
TIMER ：タイマーを設定したときに点灯します。
数字 ：設定されたタイマー番号が点灯します。
␣ ：スヌーズオン設定時に点灯します。

⑩ FM/AM 受信情報表示
FM/AM 受信時の情報を知らせます。

⑪ FILE（ファイル）表示
ファイル番号やファイル名が表示されているときに点灯します。

⑫ TRACK（トラック）表示
トラック番号が表示されていているときに点灯します。

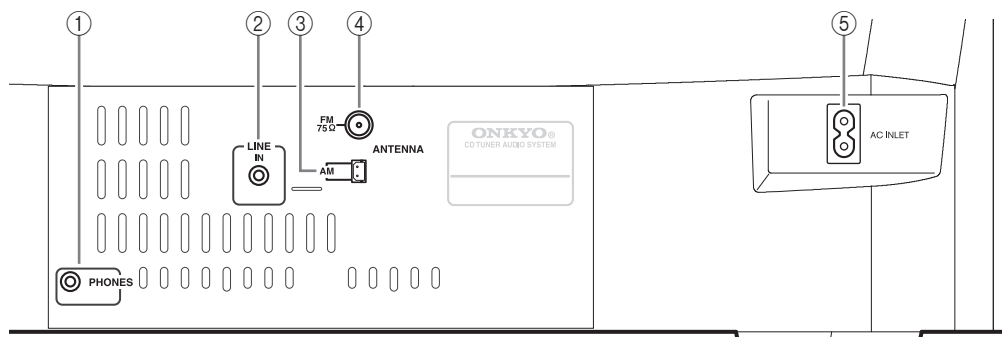
⑬ TITLE/ARTIST/ALBUM（タイトル／アーティスト／アルバム）表示
iPod/iPhone や MP3/WMA ディスク再生時、タイトル名、アーティスト名、アルバム名を表示しているときに点灯します。

⑭ DISC/TOTAL/REMAIN（ディスク／トータル／リメイン）表示
ディスクや曲の総合計時間や経過時間、残り時間などを表示するときに点灯します。

⑮ CH（チャンネル）表示
チャンネル番号が表示されているときに点灯します。

⑯ 多目的表示部
再生時間やファイル名などを表示します。

後面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

① PHONES（フォーンズ）端子〔19〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

② LINE IN（ライン イン）端子〔16〕
市販のオーディオ用ミニプラグコードを使って、外部機器の音声出力端子と接続します。デジタルオーディオプレーヤーやゲーム機、テレビ、フォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなどの音声を本機で再生することができます。

③ ANTENNA（アンテナ）（AM）端子〔15〕
付属の AM 室内アンテナを接続する端子です。

④ ANTENNA（アンテナ）（FM75Ω）端子〔15〕
付属の FM 室内アンテナ、または FM 屋外アンテナを接続する端子です。

⑤ AC INLET（インレット）端子〔17〕
付属の電源コードを接続します。

接続については、15 ～ 17 ページをご覧ください。

リモコン（RC-775S） 〔 〕内のページに主な説明があります。

※iPod/iPhone を操作するときに使用できるボタンについての詳細は、21 ページをご覧ください。

SLEEPボタン〔39〕
スリープタイマーの設定に使用します。

ON/STANDBYボタン〔18、42〕
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

TIMERボタン〔38～40、42、43〕
時計やタイマーの設定を行います。

DISPLAYボタン〔22、27、30、34、36、38〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。
文字入力時は、文字の種類を選びます。

TREBLE ▲/▼ ボタン〔19〕
高音部を強調したり、減衰させたりします。

BASS ▲/▼ ボタン〔19〕
低音部を強調したり、減衰させたりします。

MENUボタン
メニューを表示します。もう一度押すとメニューを終了します。
文字入力時は、文字を消します。

|◄◄/►►| ボタン〔26、34〕
CDのときは、前後の曲を選びます。
ラジオのときは、登録した放送局を選びます。
文字入力時は、カーソルを移動します。

▲/▼ ボタン
メニューのとき、設定項目を選びます。

SHUFFLEボタン〔29〕
CDのランダム再生を設定します。

REPEATボタン〔29〕
CDをくり返し再生します。

SNOOZEボタン〔42〕
押すとスヌーズ（タイマー再生を一定時間止める）動作となります。

DIMMERボタン〔18〕
表示部の明るさを切り換えます。

INPUT SELCTORボタン〔18〕
押したボタンに入力が切り換わります。
CD、iPod/iPhoneを押したときは、再生が始まります。

MUTINGボタン〔18〕
音を一時的に消します。

VOLUME▲/▼ボタン〔18〕
音量を調節します。

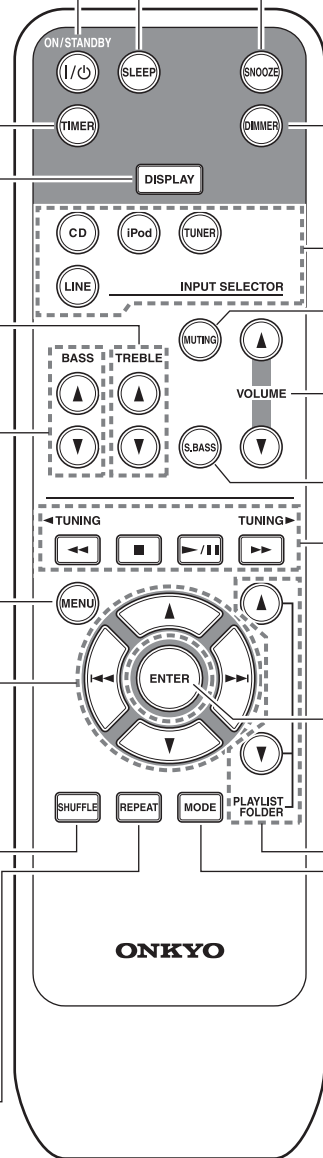
S.BASSボタン〔19〕
スーパーバスを設定します。

◄◄/►► 、◄TUNING ► ボタン〔26、31〕
CDのときは、再生中の曲を早戻し、早送りします。
ラジオのときは、周波数を合わせます。

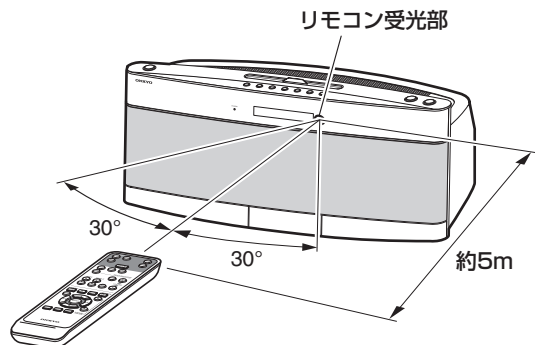
►/❚❚ボタン、■ボタン〔26〕
CDまたはiPodの再生を始めます。
再生中に押すと一時停止状態になります。
■ボタンで再生を停止します。

ENTERボタン
メニューなどの設定を決定します。

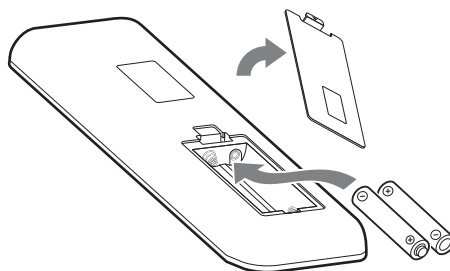
PLAYLIST/FOLDER ▲/▼ ボタン〔25、26、36〕
MP3/WMAディスク再生時、フォルダを選びます。

MODEボタン〔26、28、34〕
CDのときは、1フォルダ再生やメモリー再生を設定します。
FMのときは、オート/モノを切り換えます。

リモコンを準備する

リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に、本などものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスが使われていると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

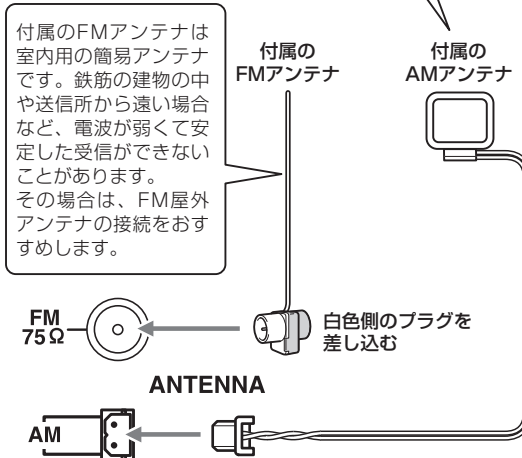
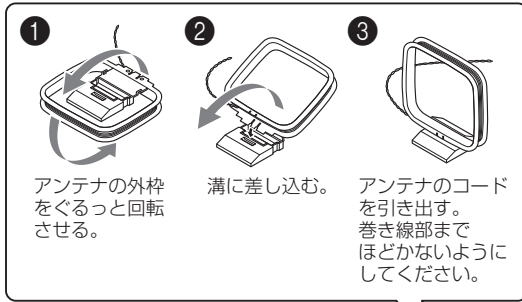
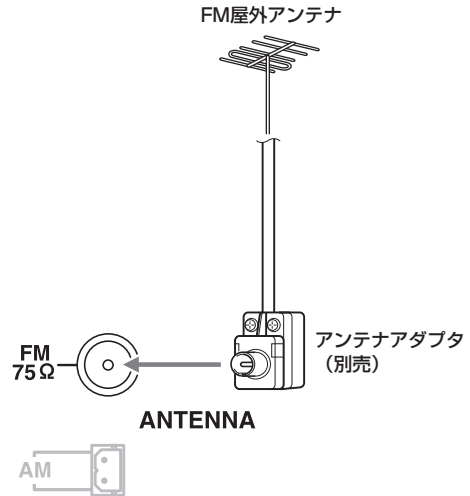
電池交換のしかた

ご注意

- リモコンの反応が悪くなった場合は、電池を交換してみてください。
- 電池は、古いものと新しいもの、種類の違うものを混ぜて使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、電池をはずしておいてください。

接続する

ラジオのアンテナを接続する

付属の FM/AM アンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(☞ 31 ページ)

FM 屋外アンテナを接続する

FM 屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプタを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

！ヒント

ケーブルテレビをご覧の方は、FM がテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定した FM 受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

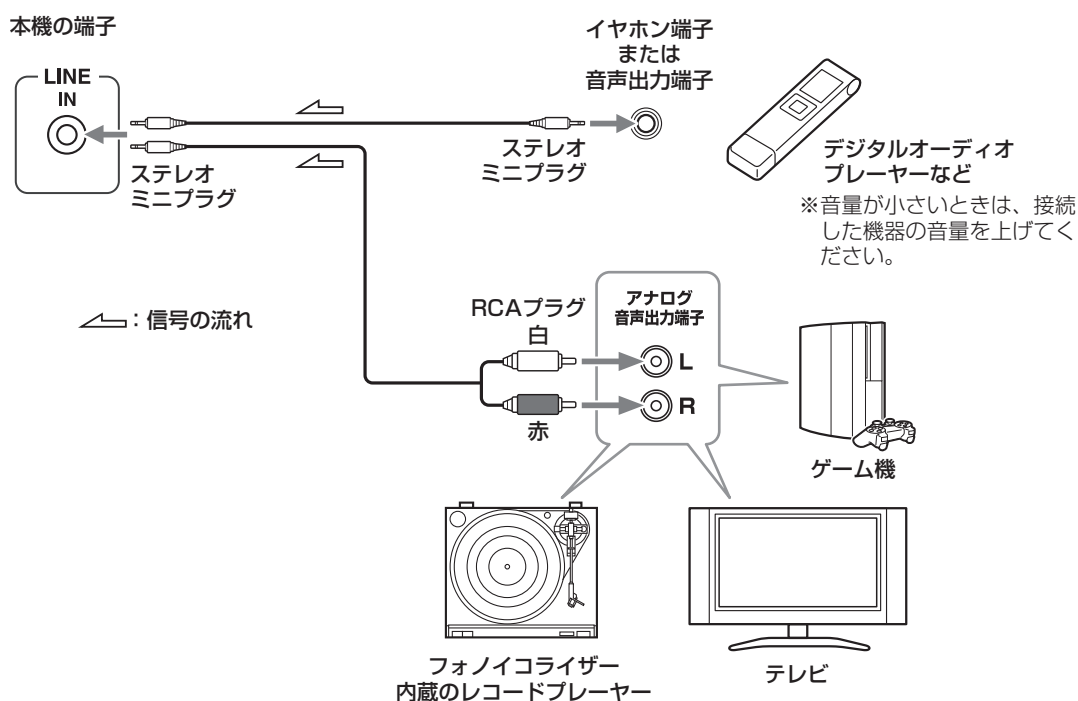
外部機器を接続する

接続の前に

- イラストは一例です。他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

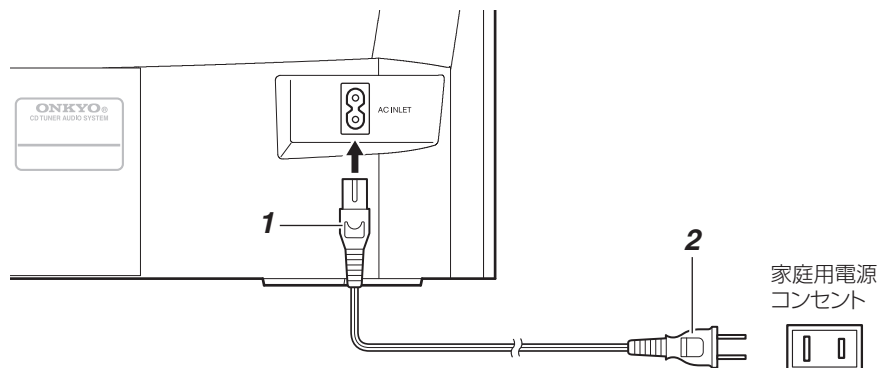
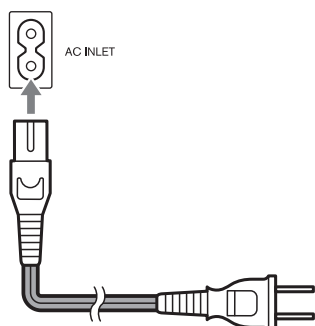
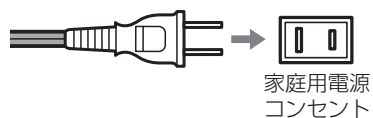
設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

外部機器を接続する

本機後面パネルの LINE IN（ライン イン）端子に外部機器を接続することができます。
LINE IN 端子には外部機器の音声出力端子を接続します。本機の端子はステレオミニジャックです。接続する機器の端子に合った市販の接続ケーブルをお使いください。

ご注意

- 接続用のケーブルは、抵抗入りでないものをご使用ください。
- 本機のLINE IN 端子へ他の機器のイヤホン端子を接続する場合は、あらかじめ接続する機器側の音量を調整しておいてください。
- LINE IN 端子へ接続する場合、PHONES 端子へ誤って接続しないようご注意ください。間違って接続すると、故障の原因となります。

電源コードを接続する

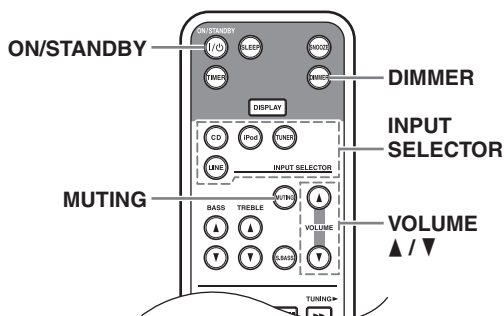
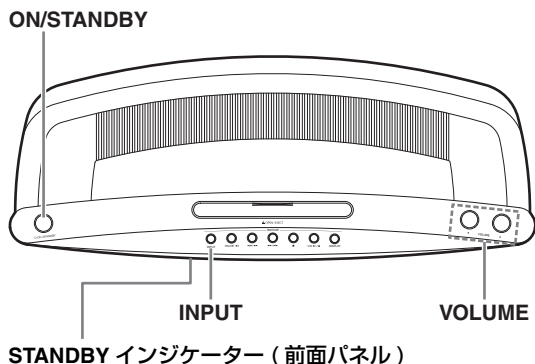
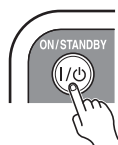
すべての接続が完了していることを確認してください。

1 付属の電源コードを本体後面のAC INLET（インレット）に接続する

2 付属の電源コードのプラグを家庭用電源コンセントに接続する

STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

ご注意

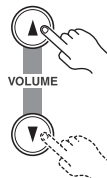
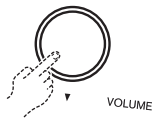
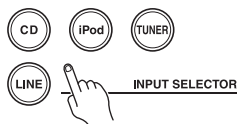
- **付属の電源コード以外は使用しないでください。**
  また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
  故障や事故の原因となります。

- 電源コードのプラグをコンセントに差したままAC INLET（インレット）側をはずさないでください。誤って電源コード内部の電極に触れると感電するおそれがあります。
- 電源オン状態で電源コードを抜いたときは、次に電源コードを差したときは電源オンになります。

基本の操作を理解する

電源を入れる

本体またはリモコンの ON/STANDBY ボタンを押す

STANDBY インジケーターが消え、表示部が点灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、もう一度ボタンを押します。

入力を切り換える

本体　　リモコン

本体の INPUT ボタンまたはリモコンの INPUT SELECTOR ボタンを押して切り換える

CD、iPod/iPhone、FM/AM、LINE（接続した外部機器）から選べます。本体の INPUT ボタンは、押すごとに入力が次のように切り換わります。

→ CD → iPod → FM → AM → LINE ─┐（CD に戻る）

表示部の明るさを切り換える

リモコン

リモコンのDIMMERボタンを押す

押すたびに次のように明るさが変わります。

→ ふつう → やや暗い → 暗い ─┐（ふつうに戻る）

音量を調節する

本体　　リモコン

本体またはリモコンの VOLUME ▲/▼ ボタンを押す

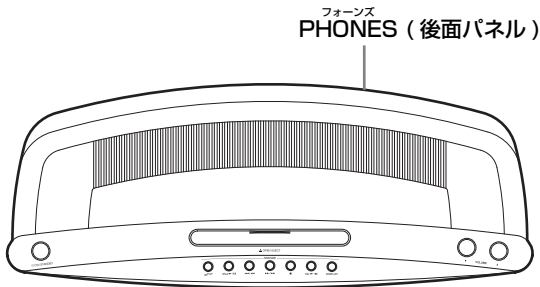
音量は、Min、1 ～ 49、Max の範囲で調節できます。

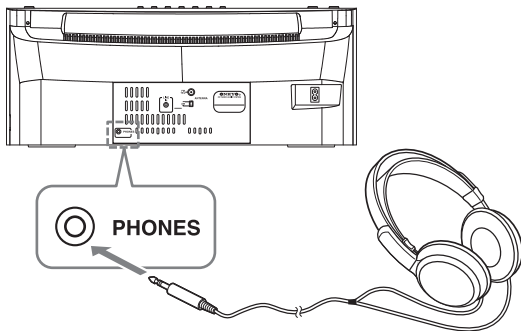
音を一時的に消す

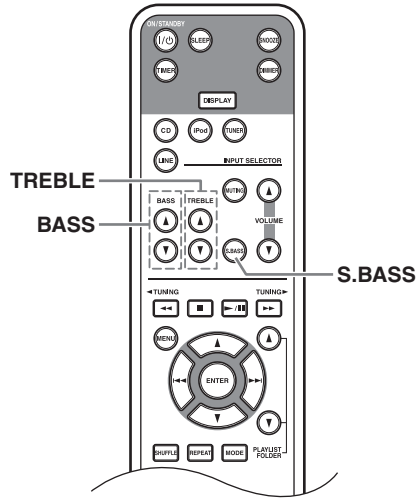
リモコン

リモコンのMUTINGボタンを押す

表示部に“Muting”と数秒間表示され、MUTING インジケーターが点滅し、音が消えます。もう一度押すと、解除されます。
次のときも解除されます。
- 音量を調節したとき
- 一度スタンバイ状態にし、再度電源を入れたとき

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

ご注意

PHONES端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると故障の原因となります。

音質を調整する

低音を調整する

BASS ▲/▼ ボタンを押して調整する

－5から＋5の範囲で調整できます。
8秒間操作しないと、元の表示に戻ります。

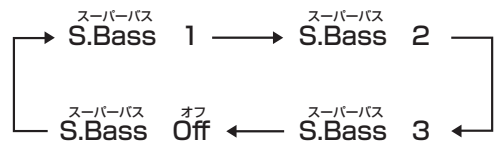
高音を調整する

TREBLE ▲/▼ ボタンを押して調整する

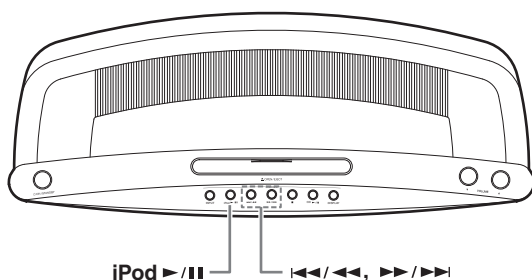
－5から＋5の範囲で調整できます。
8秒間操作しないと、元の表示に戻ります。

重低音を強調する

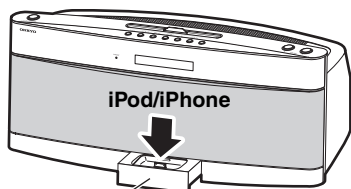
S.BASS ボタンを押す

ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

数字が大きくなるほど、より重低音が強調されます。
S.BASS機能が働いているときは、S.BASSインジケーターが点灯します。
お買い上げ時の設定は「S.Bass 2」です。

iPod/iPhone を再生する

本体で操作する

1 iPod/iPhone 用 Dock を引き出す

Dock 部を押して離すと少し Dock が飛び出します。手で Dock を完全に引き出してください。

2 iPod または iPhone を iPod/iPhone 用 Dock に差し込む

iPod/iPhone を本機のコネクタにしっかり差し込みます。

ご注意

- 必ず適合する Dock アダプタを本機の iPod/iPhone 用 Dock に取り付けてご使用ください。(☞ 7 ページ)
- iPod/iPhone はケースをはずして本機に接続してください。ケースをつけていると完全にコネクタと接続できず、音が出ない、操作できないなどの問題が起こります。
- iPod/iPhoneを抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタ部に無理な力を加えないようにしてください。また、使用中にiPod/iPhoneを前後に倒したりすると、コネクタ部を破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- FM トランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。

3 iPod ►/II ボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

スタンバイ状態のときに iPod ►/II ボタンを押すと、自動的に電源が入り、再生が始まります。

ご注意

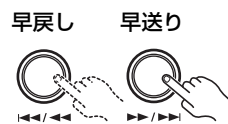
- ご使用になる前に、必ずお使いのiPod/iPhoneを最新バージョンにアップデートしてください。詳細は Apple 社ホームページを参照してください。
- iPod が休止状態になっているときは、iPod を本機に差し込み、操作可能な状態になってから操作してください。

聞きたい曲を選ぶ

再生中、一時停止中に ⏮/◀◀ ボタンを 1 回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 曲ずつ前に戻ります。
▶▶/⏭ ボタンを押すと 1 曲ずつ次へ進みます。

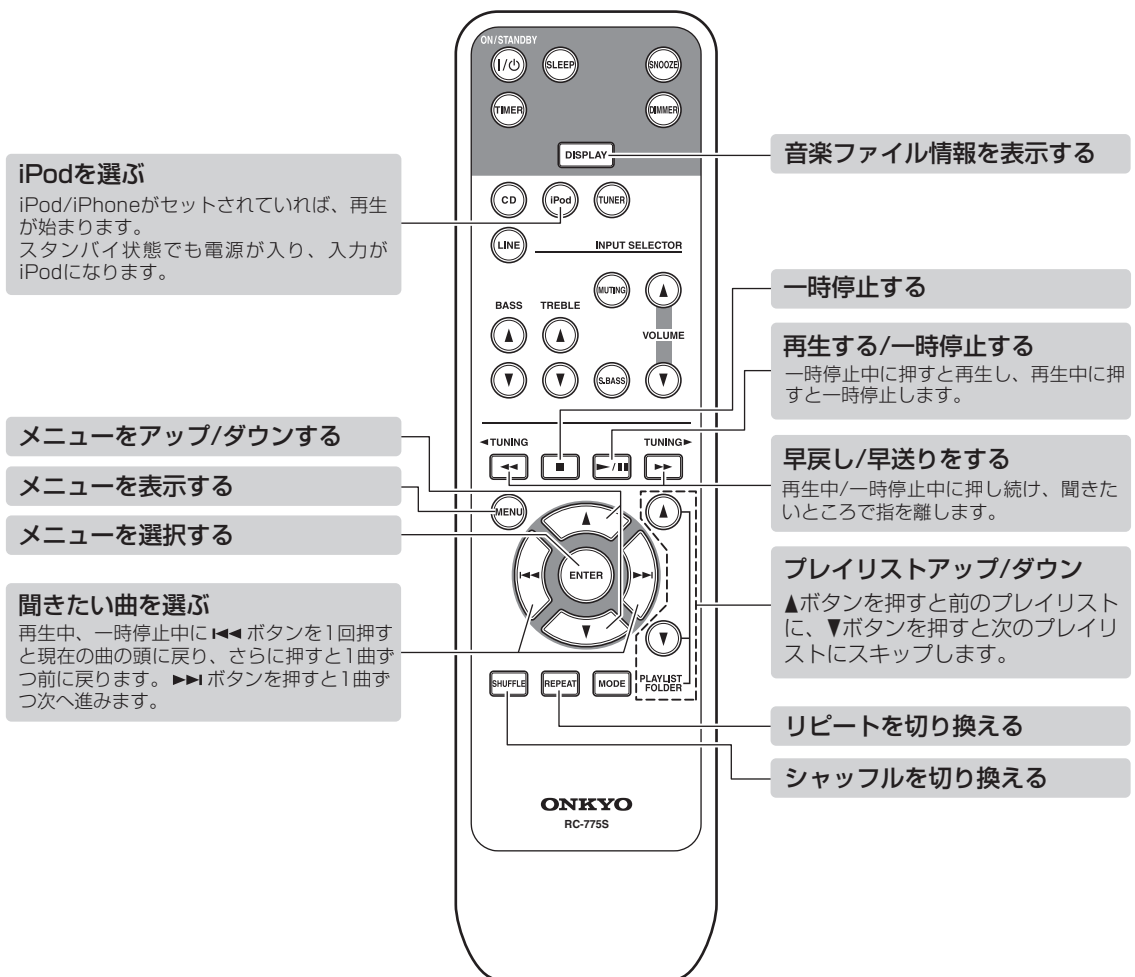
早戻し / 早送りをする

押し続ける

再生中、一時停止中に ⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ ボタンを押しつづけ、聞きたいところで指を離します。

一時停止する

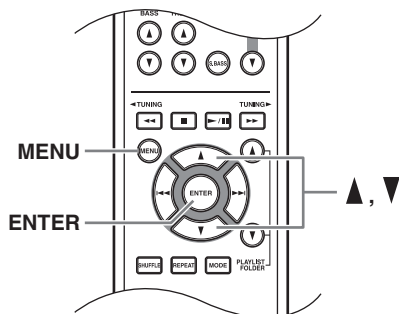
iPod ►/II ボタンを押す

もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

リモコンで操作する

ご注意

- iPod/iPhone の機種や再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。
- プレイリストが選べないときは、iPod/iPhone でいずれかのプレイリストを再生した後、PLAYLIST ▲ /▼ ボタンを操作してください。
- 音量は本機の VOLUME ▲ /▼ ボタンで調節します。iPod/iPhone 側で調節しても音量は変わりません。

iPod/iPhone のメニュー操作

（リモコン操作のみ）

1 **MENU（メニュー）ボタンを押して、iPod/iPhone にメニューを表示させる**

さらに押すと、前のメニューに戻ります。

2 **▲/▼ ボタンを押し、iPod/iPhone のメニュー項目（反転）を移動させる**

3 **ENTER（エンター）ボタンを押して、項目を選択する**

音楽ファイル情報を表示する

再生中の音楽ファイル情報を表示できます。

再生中、本体またはリモコンの DISPLAY（ディスプレイ） ボタンを（くり返し）押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

タイトル名

TITLE ONKYO-BEST

↓

アーティスト名

ARTIST GREAT ARTIST

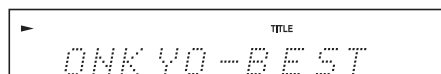
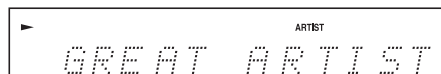
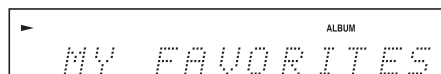
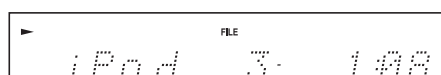
↓

アルバム名

ALBUM MY FAVORITES

↓

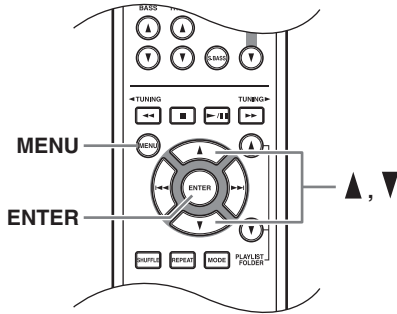
経過時間

FILE iPod 3- 1:08

再生が一時停止状態のときは、“iPod”が表示されます。

ご注意

- タイトル名、アーティスト名、アルバム名が記録されていない場合は、“Unknown Title”、“Unknown Artist”、“Unknown Album”と表示されます。
- タイトル名、アーティスト名、アルバム名で本機で表示できない文字（漢字など）は、“･”と表示されます。
  また、ひらがなはカタカナに変換されて表示されます。

iPod/iPhone に関する設定をする

iPod/iPhone の充電や表示方法を設定することができます。

1 iPod/iPhone を iPod/iPhone 用ドックから取りはずす

ご注意

iPod/iPhone をドックに差したまま MENU ボタンを押すと、iPod/iPhone 自体のメニュー操作になります。

2 MENU（メニュー） ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

各項目の詳細については、右の「各設定について」をご覧ください。

4 ENTER（エンター） を押す

5 ▲/▼ ボタンを押して設定値を変更する

6 ENTER（エンター） を押す

各設定について（___：お買い上げ時の設定）

Charging?（充電設定）

本機がスタンバイ状態のときの iPod/iPhone の充電方法を設定します。
本機がスタンバイ状態で、iPod/iPhone に電源を供給しているときは、"Charging..." と表示されます。

To Full：iPod/iPhoneがフル充電されると、本機が完全なスタンバイ状態になり、iPod/iPhoneへ電源は供給されません。

Ever：iPod/iPhone に常に電源を供給します。

ご注意

- "To Full" の場合、iPod/iPhoneがフル充電になると、電源がオフになり、以後バッテリーが消耗しても再充電されません。iPod/iPhone を一度取りはずして再び接続するか、本機の電源を一度入れてスタンバイにすると、再び充電されます。
- 長時間ドックに接続し、はずしたときにバッテリーが消耗しているような場合は、"Ever" に設定してください。
- 本機がスタンバイ状態で、iPod/iPhone が充電中（"Charging..." 表示中）の消費電力は最大 20W です。

Info Scroll?（スクロール）

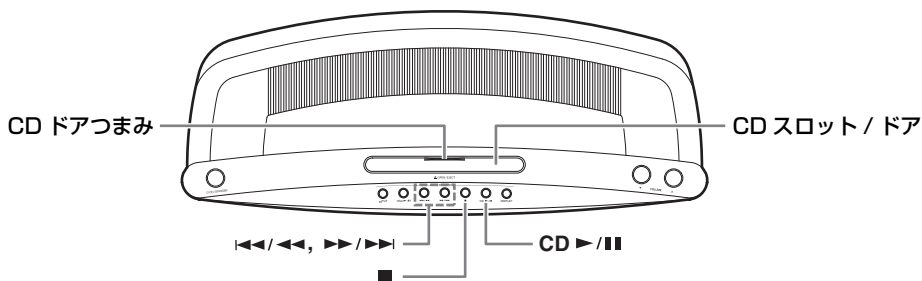
iPod/iPhone 再生時の表示方法を設定します。

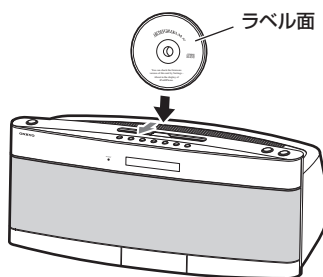
Not Display：常に経過時間が表示されます。

Once：タイトルを表示した後、経過時間表示になります。

Repeat：常にタイトルを表示します。情報が長い場合はくり返しスクロールします。

CD を再生する

本体で操作する

1 CDドアを開け、CDをCDスロットに挿入する

ラベル面を手前にして入れてください。
CD が自動的にスロット内に引き込まれます。
CD を挿入したら CD ドアを閉めます。

! ヒント

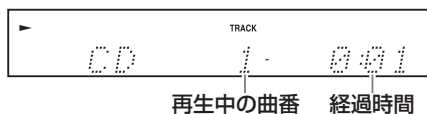
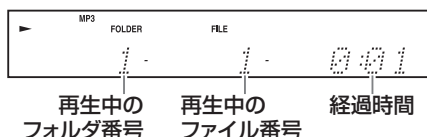
スタンバイ状態のときに CD を挿入すると、自動的に電源が入ります。

ご注意

- 8cm CDもそのまま入れてください。アダプタを使うと故障の原因となります。
- CD ドアは、ほこりが入らないよう CD を出し入れするとき以外は閉じておいてください。

2 CD ►(プレイ) / II(ポーズ) ボタンを押す

再生が始まります。

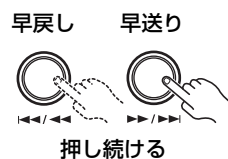
音楽 CD の場合

MP3/WMA ディスクの場合

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中 / 一時停止中に ⏮/◀◀ボタンを1回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 曲ずつ前に戻ります。
  ▶▶/⏭ ボタンを押すと 1 曲ずつ次へ進みます。
- 停止中は ⏮/◀◀ ボタンを押すと 1 曲ずつ前の曲に戻り、▶▶/⏭ ボタンを押すと 1 曲ずつ次の曲に進みます。

早戻し / 早送りをする

再生中、一時停止中に ⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ ボタンを押しつづけ、聞きたいところで指を離します。

一時停止する

CD ►(プレイ) / II(ポーズ) ボタンを押す

表示部に II 表示が点灯します。
もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

■(ストップ) ボタンを押す

CD を取り出す

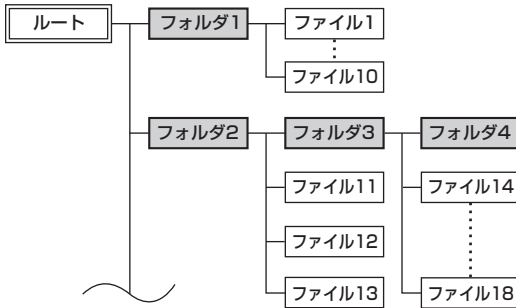
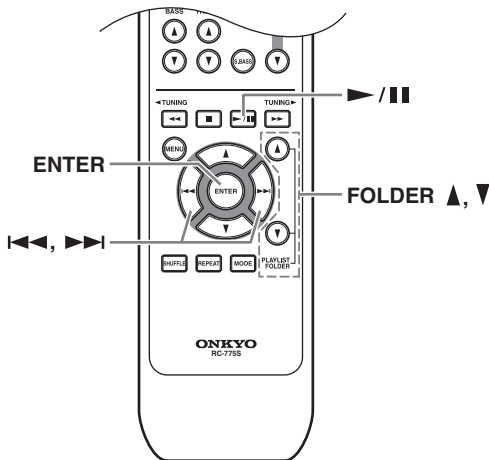
CD ドアを開け、ドアのつまみを手前に引く

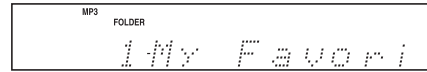
すでにCDドアが開いている場合は、つまみを手前に引くと CD を取り出せます。

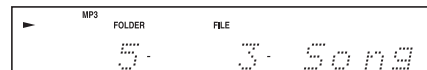
CD が取り出せないときは

CD が入っているのに「No(ノー) Disc(ディスク)」と表示されて取り出せないときは、CD ドアのつまみを３秒以上手前に引き続けてください。

CD（MP3、WMA）のフォルダやファイルを選ぶ

CD（MP3、WMA）では、フォルダの中にファイルが入っています。
フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中にファイルが入っている場合もあり、下図の例のように階層構造になっています。

再生するときにフォルダもファイルも選ばなかったときは、上記のファイル番号順に再生します。

1 停止中に FOLDER ▲/▼ ボタンを押してフォルダを選ぶ

選択したフォルダの最初のファイルから再生する場合は、手順３に進みます。

2 ⏮/⏭ボタンでMP3/WMAファイルを選ぶ

選択した MP3/WMA ファイルのファイル名が表示されます。

別のフォルダを選ぶときは、FOLDER ▲/▼ ボタンを押し、⏮/⏭ ボタンで MP3/WMA ファイルを選びます。

3 ENTER または ► / II ボタンを押す

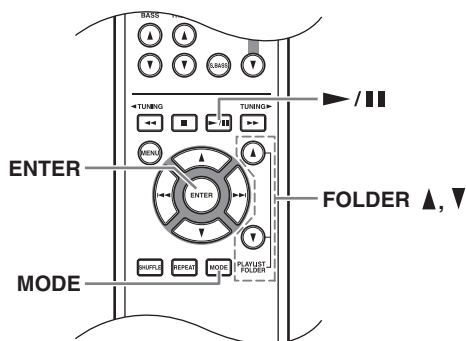
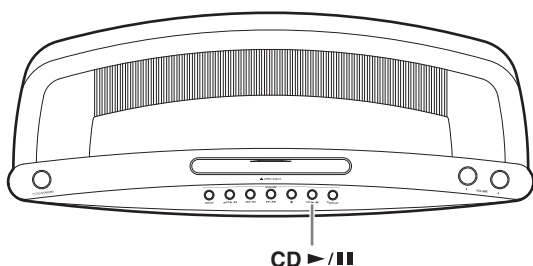
再生が始まります。
再生は選択したフォルダ / ファイルからスタートします。

本体の CD ► / II ボタンを押して再生を始めることもできます。

再生中に別のフォルダを選ぶ

再生中に別のフォルダを選びたいときは、FOLDER ▲/▼ ボタンを押してフォルダを選び ENTER を押します。
その後、⏮/⏭ ボタンで MP3/WMA ファイルを選ぶことができます。

1 フォルダ再生

選択したフォルダ内だけを再生します。

1 停止中に MODE ボタンを押して 1FOLDER を点灯させる

2 FOLDER ▲/▼ ボタンを押してフォルダを選ぶ

3 ENTER または ► / II ボタンを押す

選択したフォルダ内の最初のファイルから再生が始まり、フォルダ内のファイルをすべて再生して停止します。

本体の CD ► / II ボタンを押して再生を始めることもできます。

ご注意

1FOLDERモードは自動的には解除されません。1FOLDER再生をしないときは、MODEボタンをくり返し押して通常再生モードにしてください。

リモコンで操作する

表示部の情報を切り換える

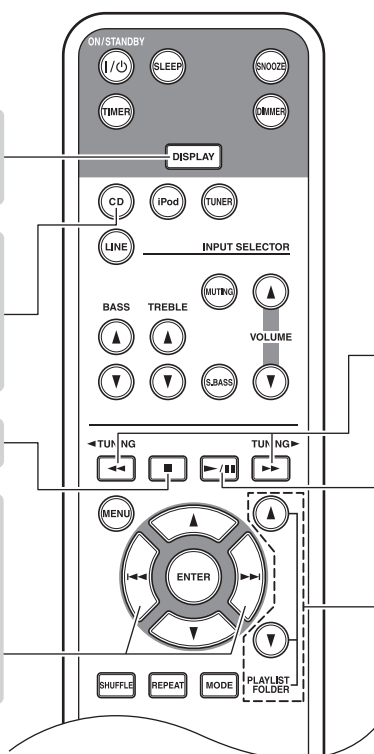
DISPLAYボタンを押します。

CDを選ぶ

CDがセットされていれば、再生が始まります。
スタンバイ状態でも電源が入り、入力がCDになります。

再生を止める

聞きたい曲を選ぶ

再生中/一時停止中に I◄◄ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。
►►Iボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

再生/一時停止する

再生中に押すと一時停止状態になります。

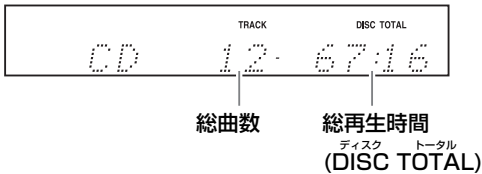
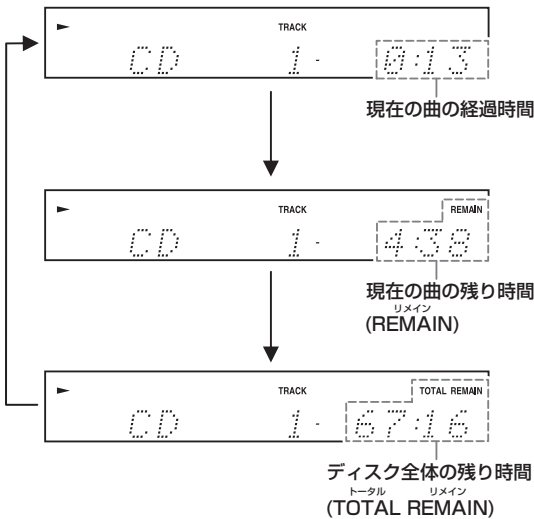
フォルダを選択する

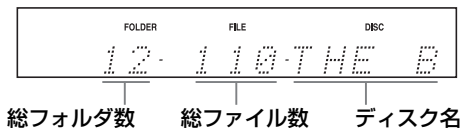
▲ボタンを押すと前のフォルダを、▼ボタンを押すと次のフォルダを選択できます。

表示部の情報を切り換える

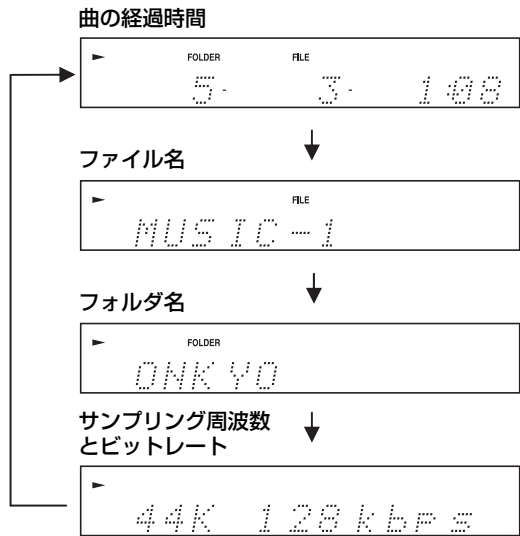
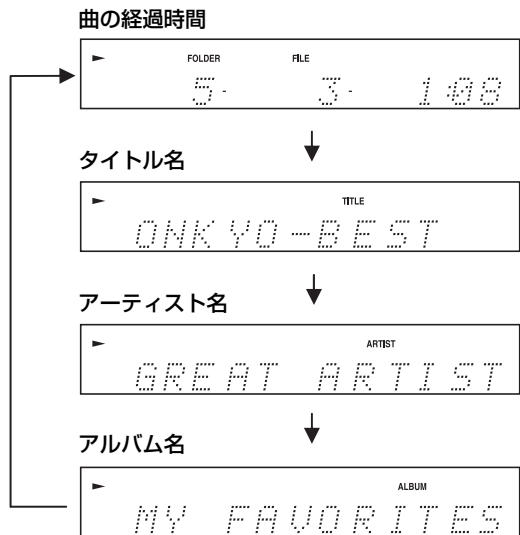
本体またはリモコンのDISPLAY(ディスプレイ)ボタンを（くり返し）押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

■ 音楽CDの場合

停止中

再生中、一時停止中

■ MP3/WMAディスクの場合

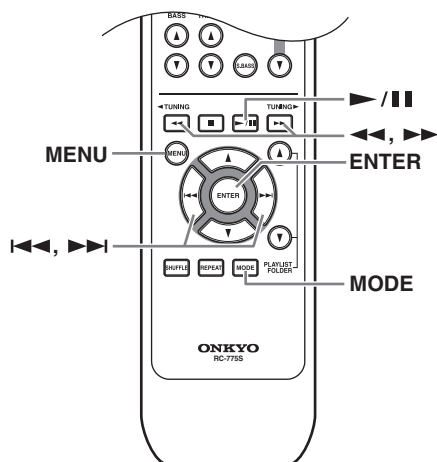
停止中

DISPLAYボタンを押すと、ディスク名が表示されます。

再生中、一時停止中

MP3/WMA Info設定がFile Nameのとき

MP3/WMA Info設定がTitleのとき

ご注意

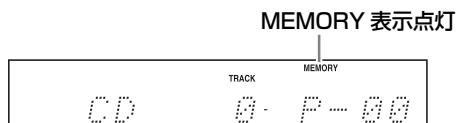
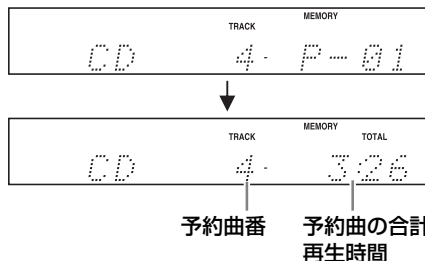
- タイトル名、アーティスト名、アルバム名が記録されていない場合は、“Unknown Title”、“Unknown Artist”、“Unknown Album”と表示されます。
- フォルダまたはファイル名に本機で表示できない文字が含まれている場合は、“Folder_n”または“File_n”と表示されます。（“n”は番号が入ります。）
- タイトル名、アーティスト名、アルバム名で本機で表示できない文字（漢字など）は、“·”と表示されます。
  また、ひらがなはカタカナに変換されて表示されます。

メモリー再生

曲を指定し(25 曲まで)、その順序で再生します。

停止状態にしてから操作します。

1 MODE ボタンを(くり返し)押して、「MEMORY」を表示させる

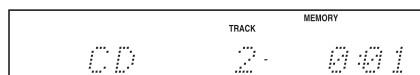
MEMORY 表示点灯

TRACK MEMORY
CD 0- P-00

2 I◄◄/►►I ボタンでトラックを選び、ENTER ボタンを押す

次の曲を予約するときはこの手順をくり返します。
MP3/WMA ファイルをメモリー再生するには、25 ページ 手順 1、2 を参考にファイルを選択します。

予約した曲を削除するには
MENU ボタンを押します。
押すたびに最後に予約した曲から削除されます。

ご注意

- 総再生時間が 99 分 59 秒を超える場合は、「- -:- -」と表示されます。
- 最大 25 曲まで登録できます。それを超えて登録しようとすると「Memory Full」と表示されます。

3 ► / II ボタンを押す

再生中の曲番

メモリー再生が始まります。
本体の CD ►/II ボタンを押して再生を始めることもできます。

予約した曲の中で選曲する

再生中にリモコンの I◄◄/►►I ボタンを押すか、本体の I◄◄/◄◄ または ►►/►►I ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲できます。

予約した内容を確認するには

停止中にリモコンの ◄◄/►► ボタンを押して予約内容を確認できます。

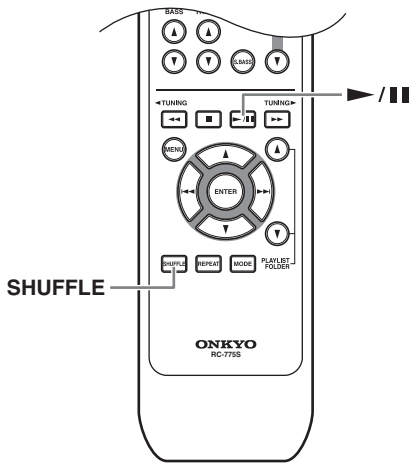
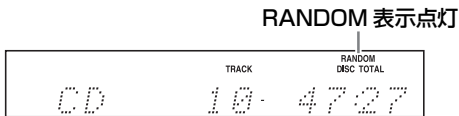
予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、MENUボタンを(くり返し)押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- MODE ボタンを押して、一度再生モードを切り換えると、記憶した内容はすべて消えます。

解除するには

- 停止中に MODE ボタンを押して再生モードを切り換えると、MEMORY 表示が消えてメモリー再生は解除されます。
- ディスクを取り出しても解除されます。

ランダム再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を一通り再生します。

1 停止中に SHUFFLE ボタンを押して、「RANDOM」を表示させる

RANDOM 表示点灯

2 ►/II ボタンを押す

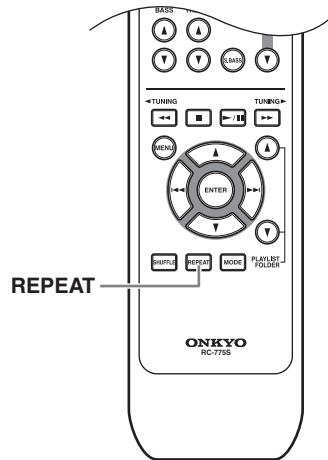
ランダム再生が始まります。

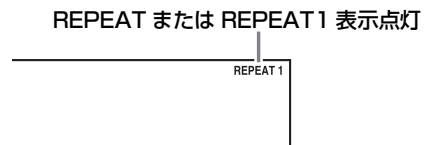
再生中の曲番

ランダム再生を解除するには

- 停止中に SHUFFLE ボタンを押して RANDOM 表示を消します。
- ディスクを取り出しても解除されます。

リピート / リピート 1 再生

- リピート再生は CD 全体をくり返し再生します。
- リピート 1 再生は 1 曲をくり返し再生します。
- リピート再生は、メモリー再生やランダム再生と組み合わせて使うこともできます。
- MP3/WMA ディスクでは、1 フォルダ再生と組み合わせて使うこともできます。

REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

REPEAT または REPEAT1 表示点灯

REPEAT 1

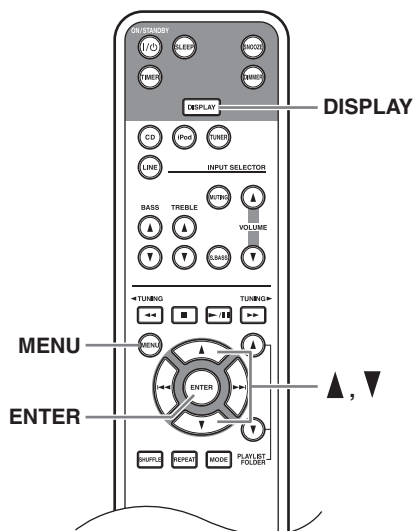
リピートまたはリピート 1 再生モードになります。

リピート、リピート 1 再生を解除するには

- REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にします。
- ディスクを取り出しても解除されます。

MP3/WMA に関する設定をする

MP3/WMA ファイル情報の表示方法や MP3/WMA ディスクの再生方法などを設定することができます。

ご注意

この設定は停止状態で行います。

1 MENU（メニュー） ボタンを押す

"MP3/WMAInfo?" が表示されます。

2 ▲/▼ ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

各項目の詳細については、右の「各設定について」をご覧ください。

3 ENTER（エンター） を押す

4 ▲/▼ ボタンを押して設定値を変更する

5 ENTER（エンター） を押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示され、設定が終了します。
途中でやめたいときは、MENU ボタンを押してください。

各設定について（___：お買い上げ時の設定）

MP3/WMA Info?（MP3/WMA 情報）

MP3/WMA ディスク再生時の表示を設定します。
また、この設定によって DISPLAY ボタンを押したときの表示が次のように変わります。

<u>File Name</u>：　ファイル名、フォルダ名、ビットレートの順に表示します。

Title：　タイトル名、アーティスト名、アルバム名の順に表示します。

Info Scroll?（スクロール）

MP3/WMA ディスク再生時の情報の表示方法を設定します。情報が長い場合はスクロールします。

Not Display：　常に経過時間が表示されます。

<u>Once</u>：　ファイル名（タイトル）を表示した後、経過時間表示になります。

Repeat：　常にファイル名（タイトル）を表示します。情報が長い場合はくり返しスクロールします。
DISPLAY ボタンをくり返し押して、経過時間表示などに切り換えることもできます。

CD Extra?（CD エクストラ）

CD エクストラディスクの再生方法を設定します。

<u>Audio</u>：　音楽データを再生します。

MP3/WMA：　MP3 または WMA データを再生します。

Prefix Num?（番号表示）

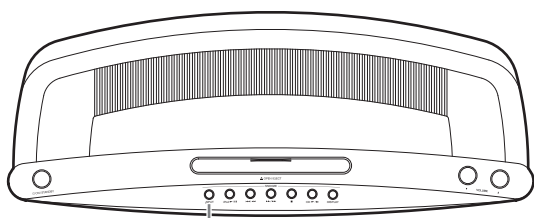
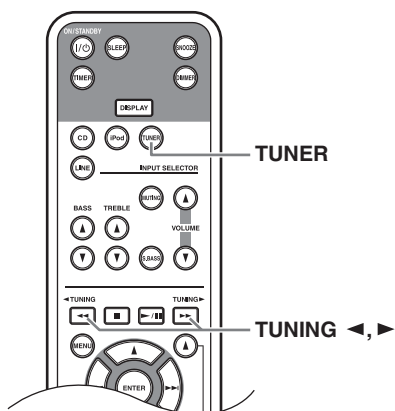
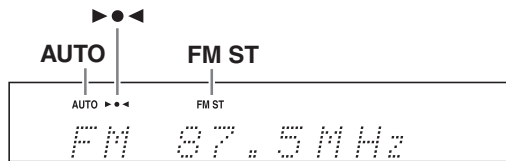
ファイル名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、その番号を表示しないように設定できます。

<u>Display</u>：　番号をそのまま表示します。

Not Display：　下表の例のように、先頭の番号を表示しません。

ファイル / フォルダ名	設　定	
	Display	Not Display
01 Pops	01 Pops	Pops
10-Rock	10-Rock	Rock
16_Jazz	16_Jazz	Jazz
21st Century	21st Century	21st Century
05-07-20 Album	05-07-20 Album	Album

FM/AM 放送を聞く

手動で周波数を合わせて聞く（リモコン操作のみ）

放送局を受信するとチューンド表示(►●◄)が点灯します。
FMをステレオ受信すると、FM ST表示が点灯します。

操作の前に
電源を入れてください。

1 入力を FM または AM にする

TUNER ボタンを押して、「FM」または「AM」を選びます。

- ボタンを押すごとに「FM」「AM」が切り換わります。

本体の INPUT ボタンでも「FM」または「AM」に切り換えることができます。

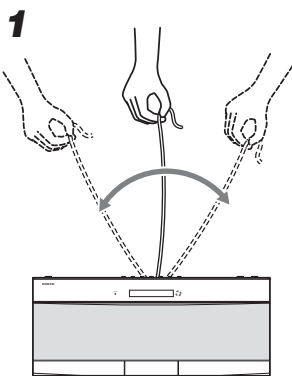
2 リモコンの TUNING ◄/► ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる

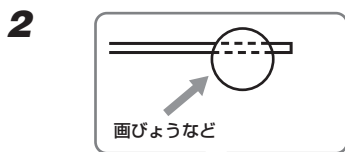
1 回押すごとに FM では周波数が 0.1MHz、AM では 9kHz ずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。
その後ボタンから手を離すと、自動的に放送局のある周波数に停止します。

アンテナを調整する

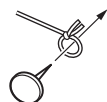
FM室内アンテナを調整して固定する

FM放送を聞きながらFMアンテナを調整します。

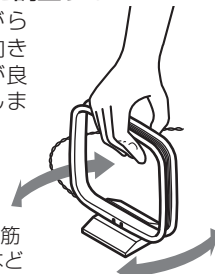
1

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になる位置を見つける。

2

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

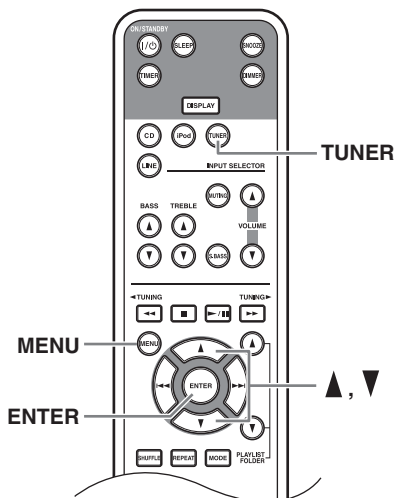
！ヒント
はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながらアンテナの位置や向きを変え、受信状態が良好になるよう調整します。

！ヒント
マンションなどの鉄筋の建物の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところに設置してください。
また、雑音の原因になりますので、妨害を出す電気製品から離してください。

放送局を自動で登録する－オートプリセット－(リモコン操作のみ)

放送局を登録すれば周波数で合わせなくても選局できます。受信から登録まで、自動(オート)で行えます。
AM 局は自動で登録できませんので次ページをご覧ください。

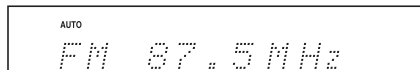
ご注意

オートプリセットを行うと、現在登録されている放送局はすべて消えますので、ご注意ください。

操作の前に

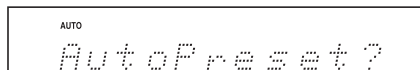
電源を入れてください。
FM の受信状態が良好になるように FM アンテナの位置を調整してください。(☞ 31 ページ)

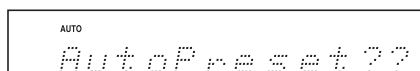
ご注意

受信環境によっては、放送局でないノイズなどが登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。(☞ 35 ページ)

1 TUNER ボタンを押して、「FM」を表示させる

AUTO
FM 87.5MHz

本体のINPUTボタンで「FM」を表示させることもできます。

2 MENU ボタンを押し、▲/▼ ボタンを押して「AutoPreset?」を表示させる

AUTO
AutoPreset?

3 ENTER ボタンを押す

AUTO
AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。
中断するときは MENU ボタンを押してください。

4 ENTER ボタンを押す

AUTO FM ST
FM 88.1MHz 1 CH

オートプリセットが始まります。
周波数の低い方から自動的に最大 30 局まで登録していきます。

!ヒント

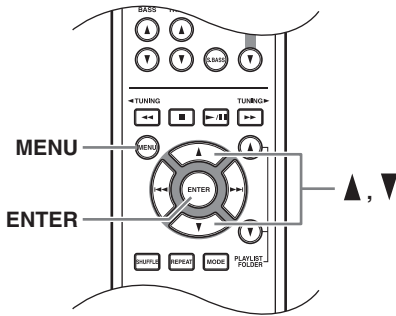
登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞ 36 ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞ 35 ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞ 35 ページ

放送局を 1 局ずつ登録するープリセットライトー(リモコン操作のみ)

FM は自動で登録することもできます。☞「オートプリセット」(32 ページ)

予 備 知 識

- FM、AM 合わせて 40 チャンネルまで登録できます。
- FM、AM は独立して表示されるので、FM と AM に同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することができます。
  (例)AM チャンネル 2、5、9

操作の前に
電源を入れてください。

1 登録したい放送局を受信する

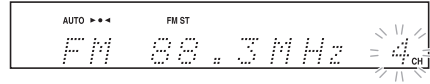
31 ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

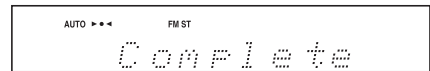
2 MENU(メニュー) ボタンを押し、▲/▼ ボタンを押して「Preset Write?(プリセット ライト)」を表示させる

3 ENTER(エンター) ボタンを押す

登録するチャンネルが点滅します。

中断するときは MENU(メニュー) ボタンを押します。

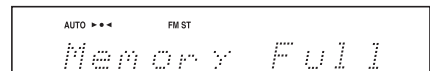
4 別のチャンネルに登録するときは、▲/▼ ボタンを押してチャンネル番号を選ぶ

5 ENTER(エンター) ボタンを押して決定する

「Complete(コンプリート)」(完了)と表示されたときは

放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

「Overwrite?(オーバーライト)」(上書きしますか？)と表示されたときは

選んだチャンネル番号は登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、ENTER ボタンを押します。
- 登録をやめるときは、MENU ボタンを押します。

「Memory(メモリー) Full(フル)」と表示されたときは

FM、AM 合わせてすでに 40 チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから(☞ 35 ページ)、再度登録してください。

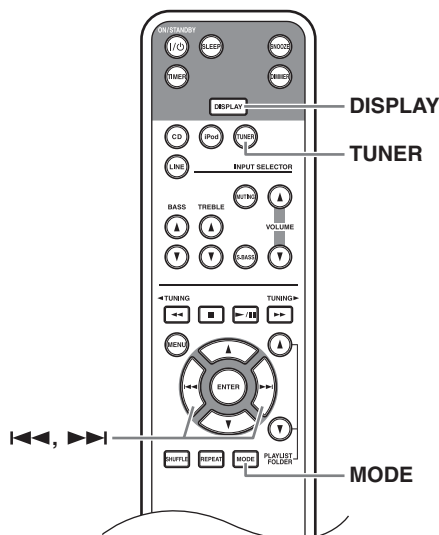
6 さらに登録するときは、手順 1 〜 5 をくり返す

! ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞ 36 ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞ 35 ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞ 35 ページ

登録した放送局を聞く あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞ 32、33 ページ)

■ リモコンで操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1 TUNER(チューナー) ボタンを(くり返し)押し、「FM」または「AM」にする

本体の INPUT(インプット) ボタンでも「FM」または「AM」に切り換えることができます。

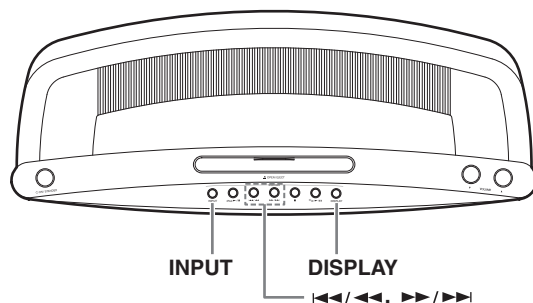
2 I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

表示部の情報を切り換える

DISPLAY(ディスプレイ) ボタンを押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

FM/AM周波数 ←→ 放送局につけた名前

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。
☞「登録した放送局に名前をつける」(36 ページ)

■ 本体で操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1 入力を「FM」または「AM」にする

INPUT ボタンを(くり返し)押して、「FM」または「AM」にします。

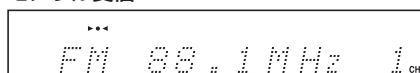
2 I◀◀/◀◀ または ▶▶/▶▶I ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

FM 放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所では、リモコンのMODE(モード)ボタンを押し、AUTO(オート)表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
AUTO に戻すときは、同じボタンを再度押します。
通常は AUTO にしておいてください。自動的に FM ステレオ受信となります。

AUTO（ステレオ）受信

AUTO FM ST FM 88.1MHz 1 CH

モノラル受信

登録した放送局を編集する（リモコン操作のみ）

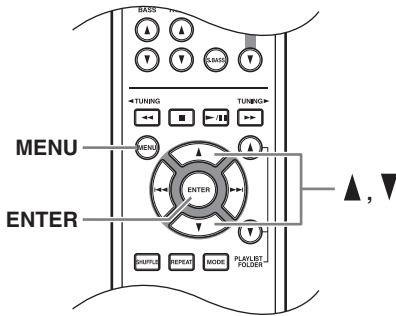
コピーと削除の 2 つの基本機能を使って、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更、不要なチャンネルの削除などができます。

編集のヒント

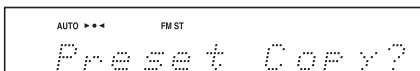
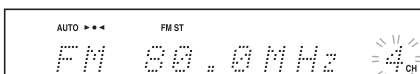
チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4 チャンネルを 6 チャンネルにコピーする。
❷ 4 チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする

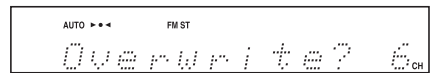
登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前も同時にコピーされます。

1 コピーするチャンネルを呼び出す

例） 4 CH 、FM80.0MHz を選んだとき

2 MENU ボタンを押し、▲/▼ ボタンを押して「Preset Copy?」を表示させる

3 ENTER ボタンを押す

チャンネル表示が点滅します。

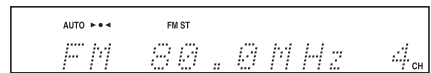
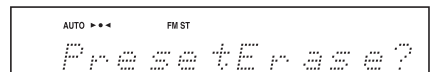
4 ▲/▼ ボタンを押してコピー先のチャンネルを選び、ENTER ボタンを押す

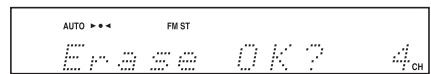
放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete」（完了）が表示されます。

「Overwrite?」（上書きしますか？）と表示されたときは

選んだチャンネルは登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、ENTER ボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、MENU ボタンを押します。

登録した放送局を削除する

1 削除するチャンネルを呼び出す

例） 4 CH 、FM80.0MHz を選んだとき

2 MENU ボタンを押し、▲/▼ ボタンを押して「Preset Erase?」を表示させる

3 ENTER ボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。

削除をやめるときは、MENU ボタンを押します。

4 ENTER ボタンを押す

登録した放送局が削除され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

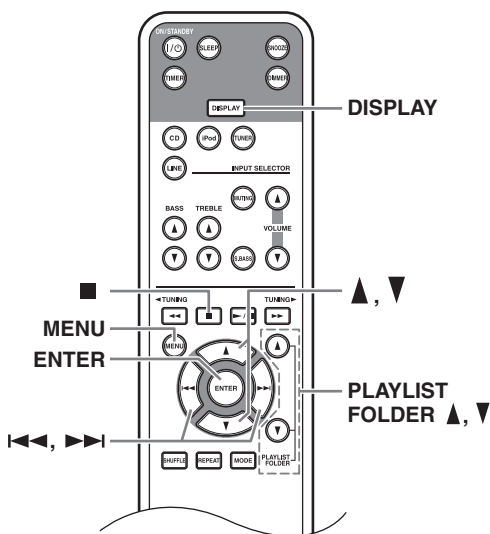
登録した放送局に英数字やカタカナで名前をつけることができます。
リモコンで操作します。

登録した放送局に名前をつける

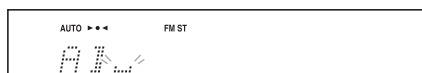
最初に名前をつけたい放送局を登録しておいてください。（☞ 32 、33 ページ）

入力できる文字

文字の種類	▲/▼ ボタンで選べる文字
A	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ␣（スペース）
a	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ␣（スペース）
1	0123456789,.':-&()[]␣（スペース）
ア	ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝｧｨｩｪｫｯｬｭｮ ␣（スペース）゜゛

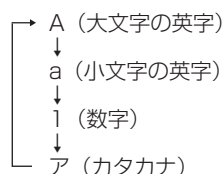
PLAYLIST（プレイリスト）/FOLDER（フォルダ） ▲/▼ ボタンでは、文字種に関係なく、次の記号を選べます。
,.':-&()[]<>_;@#¥$%!?+*/=～αμ^{23}"·、。␣(スペース) ゜゛
（゜゛は文字の種類が「ア」のときのみ選べます）

1 名前をつけたいチャンネルを呼び出す

2 MENU（メニュー） ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで「Name（ネーム） In（イン）?」を選び、ENTER（エンター） ボタンを押す

文字入力モードに入ります。

4 DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

A（大文字の英字）
↓
a（小文字の英字）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）

5 ▲/▼またはPLAYLIST（プレイリスト）/FOLDER（フォルダ） ▲/▼ボタンで入力する文字を選ぶ

6 ⏭ ボタンを押し、文字を決定する

手順 5、6 をくり返し、すべての文字を入力します。
最大 10 文字まで入力できます。

文字を消すときは

消したい文字まで ⏮/⏭ ボタンでカーソルを移動し、MENU（メニュー） ボタンを押します。

文字を挿入するときは

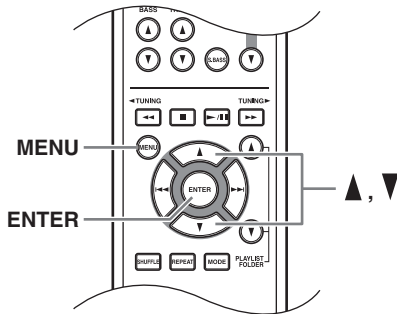
文字を挿入したいところに ⏮/⏭ ボタンでカーソルを移動し、▲/▼ ボタンで文字を入力します。
すでに10文字入力されているときは、不要な文字を消してから、文字を挿入してください。

7 ENTER（エンター） ボタンを押して文字入力を終了する

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示され、入力した文字が確定します。

！ヒント

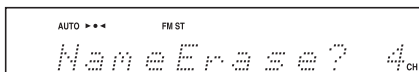
- 濁点（゛）や半濁点（゜）は 1 文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。
- 文字入力を中断するときは、■（ストップ） ボタンを押してください。それまでの文字入力は取り消され、元の表示に戻ります。
- すでに入力されている文字を変更するときも、上記の手順 1 ～ 7 で同様に文字を編集できます。

放送局につけた名前を消去する

1 名前を消去したいチャンネルを呼び出す

2 MENU（メニュー） ボタンを押す

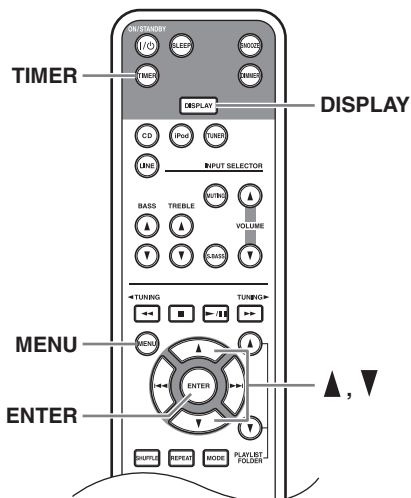
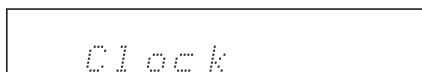
3 ▲/▼ ボタンを押し、「NameErase?（ネーム イレーズ）」を表示させる

AUTO ►●◄ FM ST
NameErase? 4 CH

4 ENTER（エンター） ボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示され、名前が消去されます。

時計を設定する

お好みにより、12 時間(am/pm)表示と 24 時間表示が選べます。(本書では 24 時間表示で説明しています。)

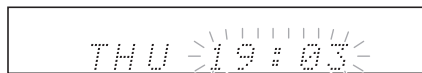
1 TIMER(タイマー) ボタンを(くり返し)押して、「Clock(クロック)」を表示させる

2 ENTER(エンター) ボタンを押す

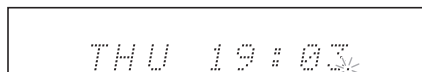
曜日入力に入ります。

3 ▲/▼ ボタンを押して、曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4 ENTER(エンター) ボタンを押して、曜日を決定する

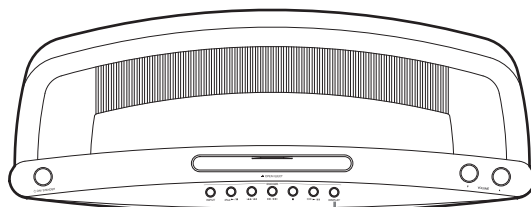
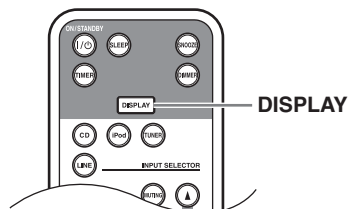
5 ▲/▼ ボタンを押して、時刻を合わせる

DISPLAY ボタンで、24 時間表示と 12 時間表示を切り換えることができます。

6 時報に合わせて ENTER(エンター) ボタンを押す

時計が動作を開始し、秒を示すドットが点滅します。

時刻合わせを中断するときは

MENU ボタンを押します。

時計を表示させる

電源が入っているときは、DISPLAY ボタンを 2 秒以上押します。
再度 DISPLAY ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
スタンバイ時は、DISPLAY ボタンを押すと、約 8 秒間表示した後、消灯します。

タイマー機能を使う

Sleep タイマー、Once タイマー、Every タイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは 4 つまで設定することができます。

再生機器の選択

FM/AM放送またはCD、iPod/iPhone、LINEを再生ソースとして選ぶことができます。

曜日の設定

タイマーは 1 回だけ働く「Once タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Every タイマー」があります。

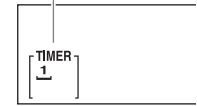
Every タイマーでは、「Everyday（毎日）」や「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など連続した曜日を自由に設定することができます。

ご注意

- タイマーを動作させるには、本機をスタンバイ状態にする必要があります。
- タイマー再生中に TIMER ボタンを押すとそのタイマーは解除され、タイマーオフの時間になっても電源はスタンバイ状態になりません。
- 時計が設定されていないと、タイマー予約はできません。

タイマー表示について

タイマーが設定されていると、そのタイマー番号が点灯します。スヌーズオンに設定されている場合は、そのタイマー番号の下に ␣ が表示されます。

TIMER 表示

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。

Timer 1　　9：00 － 10：00
Timer 2　　8：00 － 10：00
優先（タイマー開始時刻が早い方）

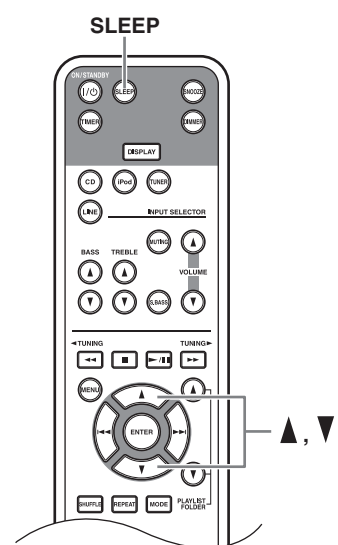
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

Timer 1　　12：00 － 13：00
優先（タイマー番号が小さい方）
Timer 2　　12：00 － 12：30

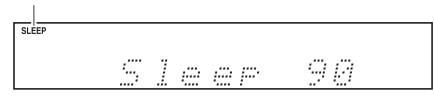
2 つのタイマーのオフ時刻とオン時刻を同時刻に設定した場合、1 つのタイマーが終了しても、もう 1 つのタイマーは動作しません。

Timer 1　　2：00 － 3：00
Timer 2　　3：00 － 10：00
動作しない

SLEEP タイマーを使う（リモコン操作のみ）

設定した時間が経過すると自動的にスタンバイ状態になります。

SLEEP ボタンを押す

SLEEP 表示が点灯し、表示部には「Sleep 90」と表示され、90 分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに 10 分単位で時間が短くなります。

SLEEP 表示点灯

1 分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に、▲/▼ ボタンを押します。

1～99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約 8 秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEP ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が 10 分以下の表示のときに再び SLEEP ボタンを押すと Sleep タイマーは解除されます。

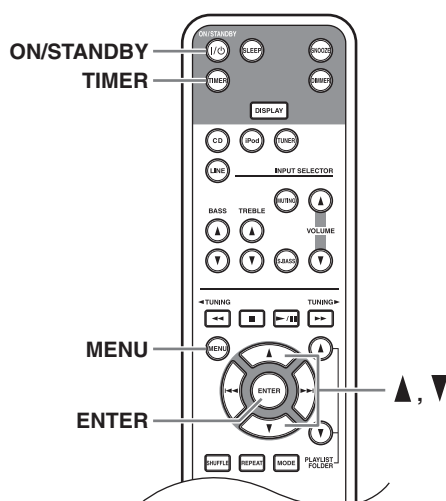
SLEEP タイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまで SLEEP ボタンを（くり返し）押します。

タイマーを予約する（リモコン操作のみ）

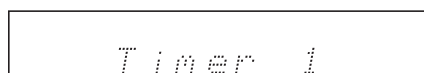
FM/AM のタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞ 32、33 ページ）

ご注意

- 時計が設定されていないと、タイマー予約はできません。
- 設定中 60 秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

タイマー番号の選択

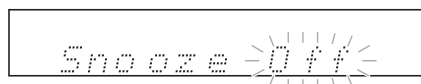
1 **TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ**

Timer 1 から Timer 4 のいずれかを選び、ENTER ボタンを押します。

Timer 1

「Clock」しか表示されない場合は、時計が設定されていませんので、時計を設定してください。
（☞ 38 ページ）

SNOOZE（スヌーズ）の設定

2 **▲/▼ ボタンを押して、スヌーズ動作の「ON（オン）」か「OFF（オフ）」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す**

または

☞「SNOOZE を使う」（42 ページ）

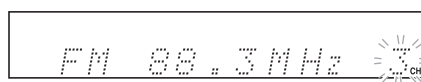
再生機器の選択

3 **▲/▼ボタンを押して、再生する機器を選ぶ**

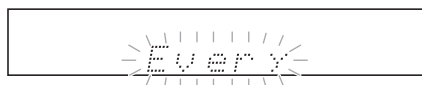
再生する機器が表示されたら ENTER ボタンを押します。

FM または AM を選んだ場合

▲/▼ ボタンを押して、希望のプリセットチャンネルを選ぶ

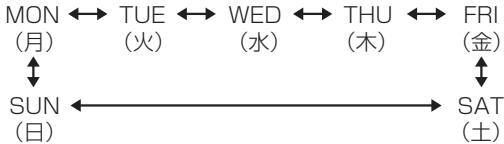
希望のプリセットチャンネルが表示されたら ENTER ボタンを押します。

曜日の設定

4 **▲/▼ ボタンを押して、「Once（ワンス）」または「Every（エブリイ）」を選ぶ**

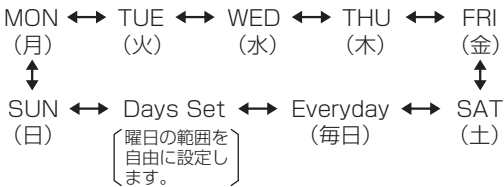
「Once」を選ぶと一度だけ、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。

選んだら ENTER ボタンを押します。

「Once」の場合：設定した曜日に一度だけ働きます。

▲/▼ ボタンを押して、曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

「Every」の場合：設定した曜日に毎週働きます。

▲/▼ ボタンを押して、曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

「Days Set（ディズ セット）」を選んだ場合：連続した曜日の範囲を自由に設定できます。

▲/▼ ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

▲/▼ ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から土曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

開始時刻の設定

5 ▲/▼ ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

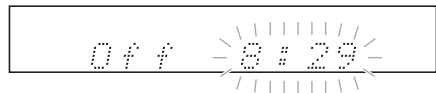
希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

！ヒント

開始時刻(On（オン）)を変更すると終了時刻(Off（オフ）)は自動的に1時間後の表示になります。

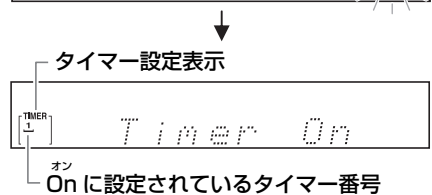
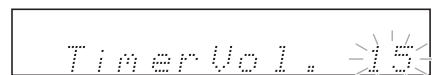
終了時刻の設定

6 ▲/▼ ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

音量の設定

7 ▲/▼ ボタンを押して、音量を設定する

希望の音量を表示させたらENTERボタンを押します。

音量は、Lst（ラスト）、1、2、3… と設定できます。
Lst は最後に聞いた音量(スタンバイ状態にしたときの音量)になります。
お買い上げ時の設定は「15」です。

スタンバイにする

8 電源をスタンバイ状態にする

本体またはリモコンのON/STANDBY（オン/スタンバイ）ボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

- 電源がオン状態のときは、タイマーの予約時刻になってもタイマーは動作しません。タイマーを動作させるには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMER（タイマー）ボタンを押すと、動作中のタイマーは解除されます。

タイマー予約をやり直したいときは

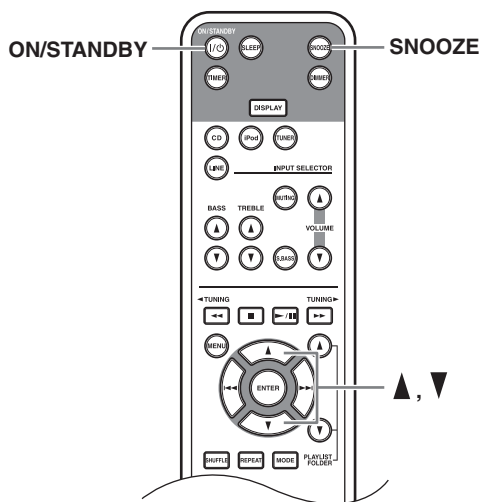
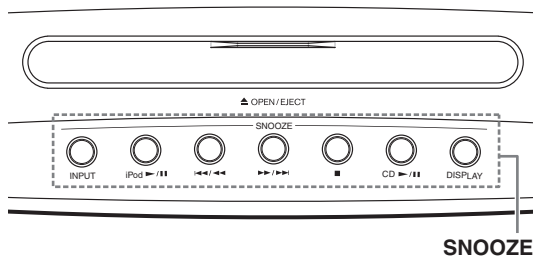
TIMER ボタンを押し、最初から設定してください。

タイマー予約を途中でやめるときは

MENU ボタンを押してください。

SNOOZE（スヌーズ）を使う

目覚ましなどにタイマー再生を使うとき、設定した時間だけ再生を一時的に止めることができます。

上面パネル

1 SNOOZE（スヌーズ）ボタンを押す

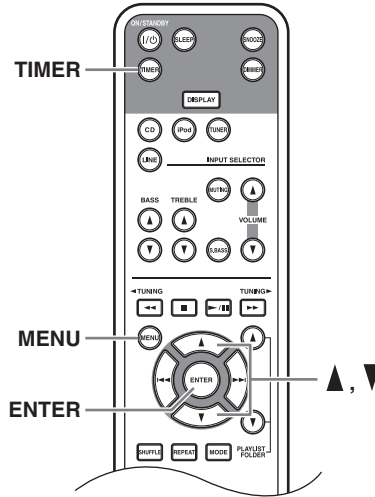
タイマー予約でスヌーズ動作の「ON」を選んだ場合（☞40ページ）、タイマー動作中（再生中）にSNOOZEボタンを押すと、表示部に約 8 秒間「Snooze 5」と明るく表示されて再生が止まり、5 分後に再び動作（再生）を開始します。スヌーズは、設定したタイマーオフ時刻まで何回でもくり返し行うことができます。

！ヒント

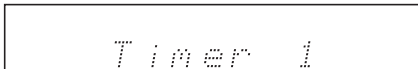
スヌーズ時間を変更するには、SNOOZE ボタンを押した後、明るく表示されている約 8 秒の間に、▲/▼ ボタンを押してください。1～30分の範囲で1分単位の時間を設定することができます。
以後のスヌーズは、その設定時間で動作します。

- 「Snooze」表示中にSNOOZEボタンを押したときは、再び設定時間だけスヌーズ動作を行います。
- スヌーズ動作を途中で解除するには、ON/STANDBY（オン/スタンバイ）ボタンを押してください。この場合、タイマー動作も同時に解除され、スタンバイ状態になります。
- スヌーズ動作「ON」のタイマー再生中は、本体のINPUT、iPod ►/II、I◄◄/◄◄、►►/►►I、■、CD ►/II、DISPLAY ボタンは SNOOZE ボタンとして働きます。これらのボタンの機能を働かせる場合は、リモコンで操作してください。

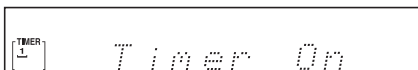
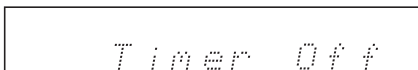
ご注意

スヌーズで再生が一時的に止まっている間にタイマーオフ時刻になると、電源がスタンバイ状態になり、再び再生は始まりませんのでご注意ください。

タイマーの On（実行）/Off（取消）を切り換える

予約したタイマーの実行を取り消したり、タイマーを再び実行させせることができます。

1 TIMER ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら、オン（実行）に設定されている状態です。

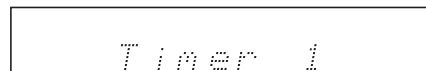
2 ▲/▼ ボタンを押して、On（実行）/Off（取消）を切り換える

切り換えると数秒後に元の表示に戻ります。

！ヒント

停電すると時計が止まり、すべてのタイマーが「オフ」になりますが、タイマーの内容は記憶されています。
時計を合わせた後、再びタイマーを「オン」に設定できます。

タイマー設定の内容を確認するには

1 TIMER ボタンを（くり返し）押して、確認したいタイマー番号を表示させ、ENTER ボタンを押す

Timer 1

2 ENTER ボタンをくり返し押して、内容を確認する

押すたびに順に設定内容を確認できます。

！ヒント

確認中、▲/▼ ボタンを押して設定内容を変更することもできます。
タイマー設定が Off になっている場合、設定内容を変更して最後まで確認すると、自動的にタイマー設定が On になります。
すべての項目を確認後、しばらくすると元の表示に戻ります。
確認を途中でやめるには MENU ボタンを押します。

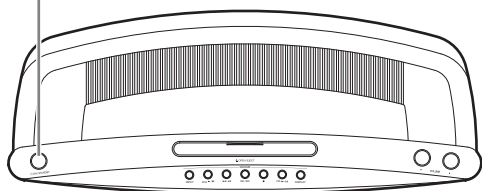
困ったときは

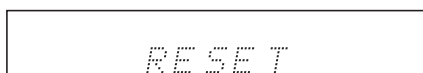
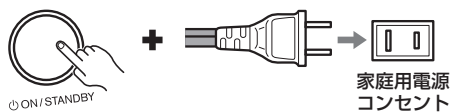
下の表でチェックしてみてください。本機以外の原因も考えられます。接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

！ヒント　修理を依頼される前に

本機の動作が異常になったときは、本機をリセットすることによって問題が解消されることがあります。
修理を依頼される前に、下記の「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行い、本機をリセットしてみてください。

すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

ON/STANDBY

1. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **本体の ON/STANDBY ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込みます。**

RESET

表示部に「RESET」と表示されたあと、スタンバイ状態に戻ります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 電源コードが本体後面のAC INLETにしっかり接続されているか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10 秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**(39 ページ)**
- タイマー再生**(39～42ページ)**は終了時刻になるとスタンバイになります。

音に関して

音が出ない

- ボリュームが小さすぎませんか？
- INPUT が正しく選択されているか確認してください。
- “MUTING”が点滅している場合は、ミューティング機能が働いていますので、リモコンのMUTINGボタンを押して解除してください。**(18 ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーから音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(19 ページ)**
- LINE IN に接続した外部機器の音が出ない場合は、接続を確認してください。**(16 ページ)**

音が良くない / 雑音が入る

- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にディスクを読み取る音が聞こえることがあります。

低音が出すぎる / 高音が弱い

- ソースや好みによって音質を調整してください。**(19 ページ)**

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されていますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない / ノイズが出る

- ヘッドホンケーブルが断線していないか確認してください。
- ヘッドホンプラグやヘッドホン端子を清掃してください。清掃方法は、ヘッドホンの取扱説明書を参照してください。

音質に関して

- 電源プラグの差し込む向き(極性)を変えると音が良くなることがあります。
- 電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。

iPod/iPhone に関して

音が出ない

- iPod/iPhone　が再生していることを確認してください。
- 本機のiPod/iPhone用DockにiPod/iPhoneがしっかり接続されているか確認してください。**(7、20 ページ)**
- 本機の電源がオンになっているか、入力が「iPod」になっているか、音量が小さくなっていないか、確認してください。

操作できない

- 本機のiPod/iPhone用DockにiPod/iPhoneがしっかり接続されているか確認してください。
  (7､20 ページ)
- iPod/iPhone をリモコンで操作するときは､リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
  (14 ページ)
- iPod/iPhone の機種やソフトウェアのバージョン､あるいは再生するコンテンツによっては､一部の機能が動作しないことがあります。(7､20 ～ 23 ページ)
- iPod/iPhoneのバッテリーが完全に放電しているときは､ドックに差しても｢iPod No Dev｣と表示されたままになることがあります。その場合は､しばらく充電した後に操作してください。

充電ができない

- 本機の iPod/iPhone 用 Dock に iPod/iPhone が正しく接続されているか確認してください。
  (7､20 ページ)
- 充電設定が "To Full" のときは､フル充電になるとそれ以降は充電されません。常にiPod/iPhoneに電源を供給したい場合は､"Ever" に設定してください。
  (23 ページ)

CD に関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合､読み込みに時間がかかることがあります。
- スタンバイ状態や入力がCD以外のときにCD ►/II ボタンを押したときは､CDを読み込んでから再生に入るので時間がかかります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている､またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音飛びすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること､メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲番であることを確認してください。

ディスクが入らない

- すでにディスクが入っていませんか？
  CD ドアのつまみを手前に引いてみてください。
- 一度電源プラグを抜いて､もう一度入れてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？
  録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は電源コードを抜き､3 時間以上室温で放置してください。(9 ページ)

ディスクの曲順通りに再生できない

- リピート再生､メモリー再生､ランダム再生等の再生モードを解除してください。(28､29 ページ)

ディスクが入っているのに「No Disc」と表示され操作できない

- 一度電源プラグを抜いて入れ直し､スタンバイ状態でCD ►/II ボタンを押してみてください。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用 CD の再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする / ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る / 1 曲目を再生しない / 頭出しに通常よりも時間がかかる / 曲の途中から再生する / 再生できない箇所がある / 再生の途中で停止する / 誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用 CD です。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には､CD規格に合致していないものがあります。それらは､特殊ディスクのため､本機で正常に再生できない場合があります。

FM/AM 放送に関して

放送に雑音が入る /FM ステレオ放送のとき、サーというノイズが多い / オートプリセットで放送局が呼び出せない（FM のみ）/FM 放送で「FM ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。
  (15 ページ)
- アンテナの位置を変えてみてください。(31 ページ)
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 鉄筋の建物の中などは電波が遮断されるため受信しにくくなります。アンテナを窓際に設置してください。
- FM モードをモノラルに切り換えてみてください。
  (34 ページ)
- それでも受信状態がよくないときは､市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については､販売店にご相談ください。
- AM 放送受信時にリモコンを操作すると雑音が入る場合があります。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- 短時間の停電ではメモリーが消えることはありませんが､長時間電源プラグを抜いたままにするとメモリーが消えます。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの ◄TUNING► ボタンを押して調整してください。
  (31 ページ)

リモコンに関して

リモコンが働かない

- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？（14 ページ）
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？（14 ページ）
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？（14 ページ）
- 電池が消耗していませんか？（14 ページ）
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

デジタルオーディオプレーヤーの音が小さい

- デジタルオーディオプレーヤー側の音量を上げてください。
- 接続ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。
- MC カートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時計、タイマー再生に関して

タイマー再生しない

- 時計は正しく設定されていますか？（38 ページ）
- 曜日を間違えていませんか？（38 ～ 42 ページ）
- 24 時間表示と 12 時間表示や am/pm を間違えていませんか？（38 ～ 42 ページ）
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。（42 ページ 手順 8 ）
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。（39 ページ）
- タイマーの音量設定は、適切に設定しておいてください。（41 ページ 手順 7 ）

スタンバイ状態で時計が表示されない

- リモコンの DISPLAY ボタンを押すと、8 秒間表示させることができます。（38 ページ）
- スタンバイ中、常に時計を表示させることはできません。

時計を表示させると「Adjust」と表示される

- 停電になり、時計が停止しました。すべてのタイマーが「オフ」になっていますので、あらためて時計を設定し直し、必要なタイマーを「オン」に設定してください。

その他

電源コードをコンセントに差し込んだとき、「RESET」と表示される

- 長期間電源コードが抜かれていたため、メモリーの内容がリセットされ、すべてお買い上げ時の設定に戻りました。あらためて必要な設定を行ってください。

電源コードをコンセントに差し込むと、電源が入る

- 電源オン状態で電源コードを抜くと、次に電源コードを差したときは電源オンになります。
  電源オン状態で停電したときは、電源コードを抜いてください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約 10 秒以上待ってからあらためて電源プラグを差し込んでください。
それでも直らない場合は、44 ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を参照してリセットしてください。

主な仕様

■ 総合

電源・電圧	AC 100V、50/60Hz	
消費電力	38W	
待機時電力	0.3W*	
最大外形寸法	459.5（幅）×193（高さ）×202（奥行）mm	
質量	4.9kg	
音声入力	アナログ	1
音声出力	ヘッドホン	1

■ アンプ部

実用最大出力	10W + 10W（6Ω JEITA）

■ スピーカー部

ユニット	8cm OMF フルレンジ ×2
防磁設計	有（JEITA）

■ チューナー部

受信範囲	FM : 76.0MHz ～ 90.0MHz AM : 522kHz ～ 1629kHz
プリセットチャンネル数	40

■ CD 部

周波数特性	20Hz ～ 20kHz
ダイナミックレンジ	84dB
全高調波歪率	0.07%

* iPod/iPhone 非充電時

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 CBX-500
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。